

県出資法人等の経営状況報告概要書  
県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

令和2年9月  
大 分 県



本概要書は、今議会提出の議案書の参考資料として「県出資法人等の経営状況報告」及び「県有地の信託に係る事務の処理状況報告」の概要をとりまとめたものです。

### ○県出資法人等の経営状況報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、同法第221条第3項に定める法人について、毎事業年度、その経営状況を説明する書類を作成して、議会に提出することになっています。

#### 地方自治法第243条の3第2項による経営状況報告法人

- 1 県が設立した地方住宅供給公社、土地開発公社及び地方独立行政法人（4法人）
- 2 県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社（10法人）
- 3 県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上2分の1未満を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社のうち条例で定めるもの（9法人）

今議会では、21法人が対象法人に該当し、その経営状況について報告議案として議会に提出します。加えて、当県独自の取組として、平成21年9月に策定した「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」により、指針で定める「指定団体」及び「その他の出資等団体」についてはその経営状況等を各常任委員会等で報告し、県庁ホームページ等で公表してきたところです。

なお、「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」の対象となる法人は以下のとおりです。

#### ※「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」対象法人（43法人）

##### 1 「指定団体」（27法人）

県の事務と密接な関係を有する事業を行っている団体で、次のいずれかに該当するもの。

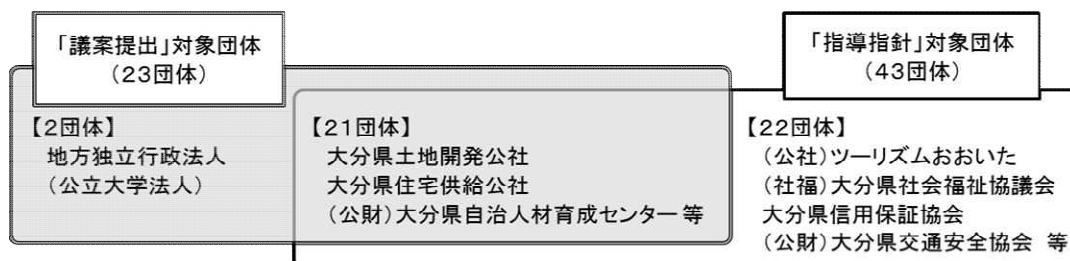
- (1) 基本財産、資本金等に県が出資又は出えんを行っており、その比率が25%以上の団体。  
ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。
- (2) 県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体
- (3) 県職員を業務援助のため継続的に派遣している団体
- (4) その他特に指導監督する必要がある団体

※ 27法人のうち21法人は地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき議会報告

##### 2 「その他の出資等団体」（16法人）

県からの出資等の比率が25%未満の団体（上記1の（2）から（4）までに掲げるものを除く。）をいう。ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。

報告議案の法人と「指導指針」対象法人の関係は、下図のとおりです。



### ○県有地の信託に係る事務の処理状況報告について

地方自治法第243条の3第3項の規定に基づき、同法第221条第3項の信託について、信託契約に定める計算期ごとに、当該信託に係る事務の処理状況を説明する書類を作成し議会に提出することになっています。

# 目 次

## I 県出資法人等の経営状況報告概要書

### 「指定団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(公財)大分県自治人材育成センター	総務部	6
2	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	企画振興部	7
3	大分高速鉄道保有(株)	企画振興部	8
4	大分航空ターミナル(株)	企画振興部	9
5	(社福)大分県社会福祉協議会	福祉保健部	10
6	(公財)大分県地域保健支援センター	福祉保健部	11
7	(公財)大分県臓器移植医療協会	福祉保健部	12
8	(公財)大分県生活衛生営業指導センター	生活環境部	13
9	(公財)大分県産業創造機構	商工観光労働部	14
10	(公財)ハイパーネットワーク社会研究所	商工観光労働部	15
11	(公財)日田玖珠地域産業振興センター	商工観光労働部	16
12	大分ブランドクリエイト(株)	商工観光労働部	17
13	(公財)大分県総合雇用推進協会	商工観光労働部	18
14	(公社)ツーリズムおおいた	商工観光労働部	19
15	(公社)大分県農業農村振興公社	農林水産部	20
16	(一財)大分県主要農作物改善協会	農林水産部	21
17	(一社)大分県農業会議	農林水産部	22
18	(公社)大分県畜産協会	農林水産部	23
19	(公財)森林ネットおおいた	農林水産部	24
20	(公社)大分県漁業公社	農林水産部	25
21	(公財)大分県建設技術センター	土木建築部	26
22	大分県土地開発公社	土木建築部	27
23	(株)大分国際貿易センター	土木建築部	28
24	大分県住宅供給公社	土木建築部	29
25	(公財)大分県スポーツ協会	教育庁	30
26	(公財)暴力追放大分県民会議	警察本部	31
27	(公財)大分県交通安全協会	警察本部	32

## 「その他の出資等団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(株)大分フットボールクラブ	企画振興部	33
2	(株)別府交通センター	企画振興部	34
3	(一財)大分県自動車会議所	企画振興部	35
4	(公財)大分県アイバンク協会	福祉保健部	36
5	(公財)大分県環境管理協会	生活環境部	37
6	大分県信用保証協会	商工観光労働部	38
7	(株)大分放送	商工観光労働部	39
8	大分朝日放送(株)	商工観光労働部	40
9	(株)エフエム大分	商工観光労働部	41
10	大分県デジタルネットワークセンター(株)	商工観光労働部	42
11	大分県農業信用基金協会	農林水産部	43
12	(公社)大分県園芸振興基金協会	農林水産部	44
13	(株)大分県畜産公社	農林水産部	45
14	周防灘フェリー(株)	農林水産部	46
15	(公財)大分県奨学会	教育庁	47
16	(公財)大分県防犯協会	警察本部	48

## II 地方独立行政法人（公立大学法人）の経営状況報告概要書

1	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学	企画振興部	50
2	公立大学法人大分県立看護科学大学	福祉保健部	52

## III 県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

1	県有地の信託	商工観光労働部	56
---	--------	---------	----

(注意)

損益計算書（正味財産増減計算書）及び貸借対照表等の合計については、四捨五入のため一致しない場合があります。



# I 県出資法人等の 経営状況報告概要書

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体01

(課・室名) 人事課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県自治人材育成センター 会長 中野五郎																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,000千円 50.0% 6,000千円																																																		
3	事業内容	1 県内自治体職員に対する研修の実施 2 県内自治体が実施する研修に対する支援 3 研修に関する調査研究 4 地域の人材育成の取組に対する支援 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>145,897</td> <td>資産</td> <td>643,931</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>145,717</td> <td>流動資産</td> <td>2,139</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>180</td> <td>固定資産</td> <td>641,792</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>2,139</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>2,139</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>180</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>641,792</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲33,124</td> <td>指定正味財産</td> <td>641,792</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>641,792</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲33,124</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲33,124千円は、建物建設時に一括計上した県負担金及び市町村補助金収入の一部の取崩し(減価償却費に充当)等によるもの</p>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	145,897	資産	643,931	経常費用	145,717	流動資産	2,139	当期経常増減額	180	固定資産	641,792	経常外収益	0	負債	2,139	経常外費用	0	流動負債	2,139	当期経常外増減額	0	固定負債	0	法人税等	180	正味財産(純資産)	641,792	当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0	当期指定正味財産増減額	▲33,124	指定正味財産	641,792	正味財産期末残高	641,792			当期正味財産増減額	▲33,124		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																		
経常収益	145,897	資産	643,931																																																	
経常費用	145,717	流動資産	2,139																																																	
当期経常増減額	180	固定資産	641,792																																																	
経常外収益	0	負債	2,139																																																	
経常外費用	0	流動負債	2,139																																																	
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																																	
法人税等	180	正味財産(純資産)	641,792																																																	
当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0																																																	
当期指定正味財産増減額	▲33,124	指定正味財産	641,792																																																	
正味財産期末残高	641,792																																																			
当期正味財産増減額	▲33,124																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>県職員と市町村職員の研修が一元化されたメリットを活かして、研修内容の充実や県職員と市町村職員のネットワーク作りを促進するとともに、効率的な財団運営を図っていく必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	1 研修の効果測定を行うため、フォローアップ調査を行い、研修効果の検証を行った上で、研修内容の改善を図る。 2 合同研修の内容充実や、研修期間中に開催される意見交換会などを通じて県と市町村職員のネットワーク作りを促進する。 3 財団の発足から6年が経過し、研修の実施状況等を踏まえ、組織体制の見直しも検討していく。																																																		



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体02

(課・室名) 芸術文化スポーツ振興課

項 目	概 要 等																																												
1 法人名及び代表者名	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 御手洗 康																																												
2 県出資金 出資比率 資本金等の総額	595,438千円 100.0% 595,438千円																																												
3 事業内容	1 iichiko総合文化センター（大分県立総合文化センター）及び大分県立美術館を拠点とした芸術文化振興事業 2 県民と外国人の相互理解と友好親善を図るための国際交流事業 3 県民のスポーツ意識の向上と多様な交流の場の創造を目的としたスポーツの振興に関する事業 4 地域の活性化を図るための事業 5 公益目的事業以外の施設提供事業及び駐車場運営事業 等																																												
4 元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>1,087,687</td> <td>資産</td> <td>1,048,209</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>1,095,623</td> <td>流動資産</td> <td>166,069</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲7,936</td> <td>固定資産</td> <td>882,140</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>174,794</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>148,333</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>26,461</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲7,936</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>873,415</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>24,665</td> <td>一般正味財産</td> <td>125,646</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>873,415</td> <td>指定正味財産</td> <td>747,769</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>16,729</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	1,087,687	資産	1,048,209	経常費用	1,095,623	流動資産	166,069	当期経常増減額	▲7,936	固定資産	882,140	経常外収益	0	負債	174,794	経常外費用	0	流動負債	148,333	当期経常外増減額	0	固定負債	26,461	当期一般正味財産増減額	▲7,936	正味財産（純資産）	873,415	当期指定正味財産増減額	24,665	一般正味財産	125,646	正味財産期末残高	873,415	指定正味財産	747,769	当期正味財産増減額	16,729		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																											
経常収益	1,087,687	資産	1,048,209																																										
経常費用	1,095,623	流動資産	166,069																																										
当期経常増減額	▲7,936	固定資産	882,140																																										
経常外収益	0	負債	174,794																																										
経常外費用	0	流動負債	148,333																																										
当期経常外増減額	0	固定負債	26,461																																										
当期一般正味財産増減額	▲7,936	正味財産（純資産）	873,415																																										
当期指定正味財産増減額	24,665	一般正味財産	125,646																																										
正味財産期末残高	873,415	指定正味財産	747,769																																										
当期正味財産増減額	16,729																																												
5 問題点及び懸案事項	<p>1 県立総合文化センター及び県立美術館において、県民の幅広いニーズに応えられる多様で質の高い芸術文化事業の展開と健全な財政運営の両立が求められている。</p> <p>2 「出会いと融合」「ネットワーク」をベースとした大分県の芸術文化の創造と発信を行う必要がある。</p> <p>3 芸術文化を活用して、教育、産業、福祉などの様々な団体等と連携することにより社会的課題や経済的課題へ対応する必要がある。</p>																																												
6 対策及び処理状況	<p>1 県立総合文化センターについては、目標のホール利用率87.0%に対して2月末までは89.0%と順調だったが、3月2日以降は新型コロナウイルス感染症の影響により貸館行事が延期・中止になったため、81.2%となった。 県立美術館については、ラグビーワールドカップに合わせた県内の国宝の紹介や日田祇園山鉦の展示等のイベントの開催の効果で、3月に新型コロナウイルスの影響はあったものの、入館者数は目標の50万人を上回り53万2千人となった。</p> <p>2 両施設の連携を強化するため、美術館で「岡本太郎展」に合わせ、センターで「太陽の塔」の映画上映会を実施したほか、大分市美術館と連携した共通割引チケットの作成等を行った。</p> <p>3 障がい者芸術文化活動の普及促進として、「おおいた障がい者芸術文化支援センター」の運営を県から受託し、美術館で「おおいた障がい者アート展vol.1」を開催した。センターでは、視覚障がい者と聴覚障がい者を招待して舞台公演を行った。</p>																																												

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体03

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分高速鉄道保有株式会社 代表取締役 尾野賢治(副知事)																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	196,000千円 82.5% 237,500千円																																																						
3	事業内容	<p>日豊本線高速化事業</p> <p>1 平成13年度～15年度</p> <p>①事業区間 日豊本線 大分駅～佐伯駅(64.9km)</p> <p>②事業内容 最高速度85km/h→110km/hに必要な工事を行った。(枕木のコンクリート化、曲線改良等)</p> <p>③事業効果 60分→52分(8分間短縮)</p> <p>④事業費 約23億円</p> <p>2 平成16年度～</p> <p>16年3月に竣工した鉄道施設の管理及び九州旅客鉄道株式会社への貸付け</p> <p>※令和10年度に九州旅客鉄道株式会社が施設を買い上げたうえで、出資金を県、九州旅客鉄道株式会社に返還し、清算する予定</p>																																																						
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>57,950</td> <td>資産</td> <td>310,911</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>0</td> <td>流動資産</td> <td>8,864</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>57,950</td> <td>固定資産</td> <td>302,047</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>48,408</td> <td>負債</td> <td>246,141</td> </tr> <tr> <td>(うち固定資産税</td> <td>6,011)</td> <td>流動負債</td> <td>47,041</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>9,542</td> <td>固定負債</td> <td>199,100</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>3</td> <td>純資産</td> <td>64,770</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,138</td> <td>資本金</td> <td>237,500</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>8,407</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>8,407</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲172,730</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>2,700</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>5,707</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	57,950	資産	310,911	売上原価	0	流動資産	8,864	売上総利益	57,950	固定資産	302,047	販売費及び一般管理費	48,408	負債	246,141	(うち固定資産税	6,011)	流動負債	47,041	営業利益	9,542	固定負債	199,100	営業外収益	3	純資産	64,770	営業外費用	1,138	資本金	237,500	経常利益	8,407	資本剰余金	0	税引前当期純利益	8,407	利益剰余金	▲172,730	法人税、住民税及び事業税	2,700			当期純利益	5,707		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	57,950	資産	310,911																																																					
売上原価	0	流動資産	8,864																																																					
売上総利益	57,950	固定資産	302,047																																																					
販売費及び一般管理費	48,408	負債	246,141																																																					
(うち固定資産税	6,011)	流動負債	47,041																																																					
営業利益	9,542	固定負債	199,100																																																					
営業外収益	3	純資産	64,770																																																					
営業外費用	1,138	資本金	237,500																																																					
経常利益	8,407	資本剰余金	0																																																					
税引前当期純利益	8,407	利益剰余金	▲172,730																																																					
法人税、住民税及び事業税	2,700																																																							
当期純利益	5,707																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>平成28年10月のJR九州株式上場に伴い、減免されていた固定資産税が増となるが、管理費等の削減を行い、清算に大きく影響を及ぼすことはない見込み。</p> <p>平成29年9月の台風第18号により、一部所有資産が被災。当該資産の処分について、鉄道建設・運輸施設整備支援機構等と協議の結果、令和2年3月に財産の処分承認がおりたため、今後、処分予定である。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	引き続き、安定経営に努める。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体04

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分航空ターミナル株式会社 代表取締役社長 富高 松雄																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	142,500千円 28.8% 495,000千円																																																		
3	事業内容	大分空港の旅客・貨物ターミナルビルを利用する航空会社や旅客等に対する施設、設備、サービスの提供																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>2,859,433</td> <td>資産</td> <td>4,734,138</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,045,888</td> <td>流動資産</td> <td>803,976</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>1,813,544</td> <td>固定資産</td> <td>3,930,162</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>1,637,130</td> <td>負債</td> <td>1,863,646</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>176,414</td> <td>流動負債</td> <td>508,665</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>213,423</td> <td>固定負債</td> <td>1,354,980</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>250,992</td> <td>純資産</td> <td>2,870,493</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>138,844</td> <td>資本金</td> <td>495,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>138,844</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>46,000</td> <td>利益剰余金</td> <td>2,375,493</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>92,844</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⇒1株10円の配当を実施(7期連続配当) 10円×発行総数990千株=9,900千円 うち、県への配当額は10円×285千株=2,850千円</p>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	2,859,433	資産	4,734,138	売上原価	1,045,888	流動資産	803,976	売上総利益	1,813,544	固定資産	3,930,162	販売費及び一般管理費	1,637,130	負債	1,863,646	営業利益	176,414	流動負債	508,665	営業外収益	213,423	固定負債	1,354,980	営業外費用	250,992	純資産	2,870,493	経常利益	138,844	資本金	495,000	税引前当期純利益	138,844	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	46,000	利益剰余金	2,375,493	当期純利益	92,844		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																		
売上高	2,859,433	資産	4,734,138																																																	
売上原価	1,045,888	流動資産	803,976																																																	
売上総利益	1,813,544	固定資産	3,930,162																																																	
販売費及び一般管理費	1,637,130	負債	1,863,646																																																	
営業利益	176,414	流動負債	508,665																																																	
営業外収益	213,423	固定負債	1,354,980																																																	
営業外費用	250,992	純資産	2,870,493																																																	
経常利益	138,844	資本金	495,000																																																	
税引前当期純利益	138,844	資本剰余金	0																																																	
法人税、住民税及び事業税	46,000	利益剰余金	2,375,493																																																	
当期純利益	92,844																																																			
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>8期連続で当期純利益が黒字となったものの、今後の新型コロナウイルス感染症の状況や航空需要の推移が見通せない状況であることから、より一層の財務基盤の強化が必要である。</li> <li>平成30年度に16期ぶりに200万人を超えた大分空港利用者数が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内線の減便や需要低迷による国際線の運休により、令和元年度は再び200万人を割り込み約183万人となった。</li> </ol>																																																		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>3カ年の中期経営計画の最終年として、令和2年度は「お客様満足度向上」、「インバウンド対応の推進」、「財政基盤の強化」、「人材育成・ESの向上」、「危機管理対応」の重点課題に取り組み、これまで以上に健全経営に努める。</li> <li>新型コロナウイルス感染症防止対策を継続して実施することで安心して空港を利用できる環境を整えるとともに、国のGo Toキャンペーンや県が実施する誘客促進事業と歩調を合わせて空港利用者の利便性や満足度の向上に引き続き取り組む。</li> </ol>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体05

(課・室名) 福祉保健企画課

項	目	概	要	等																																																		
1	法人名及び代表者名	社会福祉法人大分県社会福祉協議会 会長 草野 俊介																																																				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 15,000千円(特に指導監督する必要がある団体)																																																				
3	事業内容	1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 2 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 4 社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修 5 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言 6 市町村社会福祉協議会の相互の連絡及び事業の調整等																																																				
4	元年度決算状況	一般会計(法人全体) ○事業活動計算書(千円) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>収益</td> <td>1,336,316</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td>資産</td> <td>15,139,877</td> </tr> <tr> <td>    サービス活動</td> <td>714,887</td> <td></td> <td>流動資産</td> <td>299,853</td> </tr> <tr> <td>    サービス活動外</td> <td>621,429</td> <td></td> <td>固定資産</td> <td>14,840,024</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>1,317,326</td> <td></td> <td>負債</td> <td>13,088,998</td> </tr> <tr> <td>    サービス活動</td> <td>719,754</td> <td></td> <td>流動負債</td> <td>128,331</td> </tr> <tr> <td>    サービス活動外</td> <td>597,572</td> <td></td> <td>固定負債</td> <td>12,960,667</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減差額</td> <td>18,990</td> <td></td> <td>純資産</td> <td>2,050,879</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>    うち基本金</td> <td>15,544</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>    うち基金</td> <td>255,704</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>    うち積立金</td> <td>1,602,423</td> </tr> </table> ※生活福祉資金貸付事業は含まない。			収益	1,336,316	○貸借対照表(千円)	資産	15,139,877	サービス活動	714,887		流動資産	299,853	サービス活動外	621,429		固定資産	14,840,024	費用	1,317,326		負債	13,088,998	サービス活動	719,754		流動負債	128,331	サービス活動外	597,572		固定負債	12,960,667	当期経常増減差額	18,990		純資産	2,050,879				うち基本金	15,544				うち基金	255,704				うち積立金	1,602,423
収益	1,336,316	○貸借対照表(千円)	資産	15,139,877																																																		
サービス活動	714,887		流動資産	299,853																																																		
サービス活動外	621,429		固定資産	14,840,024																																																		
費用	1,317,326		負債	13,088,998																																																		
サービス活動	719,754		流動負債	128,331																																																		
サービス活動外	597,572		固定負債	12,960,667																																																		
当期経常増減差額	18,990		純資産	2,050,879																																																		
			うち基本金	15,544																																																		
			うち基金	255,704																																																		
			うち積立金	1,602,423																																																		
5	問題点及び懸案事項	1 「経営基盤強化・発展計画2019」に基づき、内部統制機能の強化やコスト縮減等に取り組み、当期経常増減差額は黒字となったが、今後、総合社会福祉会館の老朽化に伴う施設改修などが見込まれることから、引き続き財政基盤の強化に取り組む必要がある。 2 災害発生時における被災地社協への支援や、新型コロナウイルスに伴う減収世帯への資金貸付など、県社協の果たすべき役割は年々増加していることから、組織体制の強化に着実に取り組む必要がある。																																																				
6	対策及び処理状況	1 事務の円滑化、コスト削減といった経営意識を職員一人ひとりが持てるよう、引き続き職員の意識改革に努めるとともに、IT技術の導入による事務の効率化を推進していく。 2 各階層別研修に加え、災害に関する研修やIT技能、マネジメント能力等、体系的な研修を実施するとともに、優秀な中堅、若手職員の計画的な採用とメンター制度の導入などに取り組む。																																																				

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体06

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県地域保健支援センター 理事長 近藤 稔		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 25.0% 20,000千円		
3	事業内容	1 保健医療に関する知識の普及及び啓発 2 保健医療に関する調査研究及び技術の研修 3 結核、がん、循環器疾患及びその他の疾病予防の検診 4 市町村が実施する健康増進事業に対する支援 5 県・市町村その他関係団体への協力 6 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会の支部としての事業		
4	元年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 662,456 経常費用 647,484 当期経常増減額 14,972 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 14,972 当期指定正味財産増減額 ▲6,300 正味財産期末残高 487,439 当期正味財産増減額 8,672	○貸借対照表(千円) 資産 758,591 流動資産 264,434 固定資産 494,157 負債 271,152 流動負債 81,054 固定負債 190,098 正味財産(純資産) 487,439 一般正味財産 270,264 指定正味財産 217,175	
5	問題点及び懸案事項	1 センターの主要事業である検診車による巡回型検診は、少子高齢化や医療機関での個別検診志向の高まり等により、受診者数が減少傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響(4~5月分の巡回検診はR2年度中に延期)が危惧される。 2 令和元年度は、人件費の削減及び減価償却費の減や、センターでの健診(H26~)における近隣住民の取込み等の経営努力等により当期の正味財産期末残高は、867万円の増額となった。		
6	対策及び処理状況	1 住民検診においては、市町村との連携を強化するとともに、未受診者に対する受診勧奨の拡大を行い、事業所検診では、新規受託・再受託に努め、センターでの健康診断日拡大による収益向上を図る。 2 平成27年度に策定した経営改善計画が本年度で終了するため、更なる健全化計画を策定し、これに沿った安定的な財政運営が行われるよう指導する。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体07

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県臓器移植医療協会 理事長 三股 浩光																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	20,000千円 31.0% 64,500千円																																														
3	事業内容	1 県民への移植医療に関する普及啓発事業を行うこと。 2 腎臓の提供者と腎臓移植希望者との調整協力事業を行うこと。 3 医療機関の体制支援及び教育事業を行うこと。 4 腎臓移植希望者への情報提供及び腎臓移植登録支援事業を行うこと。 5 移植医療の学術に関する事業を行うこと。 6 臓器移植コーディネーターの設置及び臓器の移植に関する法律に定める臓器の移植医療推進のための協力支援を行うこと。 7 その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>4,980</td> <td>資産</td> <td>70,207</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>4,113</td> <td>流動資産</td> <td>5,557</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>867</td> <td>固定資産</td> <td>64,650</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>867</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>70,143</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">〔主な収入〕</td> </tr> <tr> <td>大分県補助金</td> <td>2,301千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金(支援型自動販売機等)</td> <td>1,268千円</td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td>996千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〔主な支出〕</td> </tr> <tr> <td>移植コーディネーター活動費</td> <td>2,109千円</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	4,980	資産	70,207	経常費用	4,113	流動資産	5,557	当期経常増減額	867	固定資産	64,650	経常外収益	0	負債	64	経常外費用	0	流動負債	64	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期正味財産増減額	867	正味財産(純資産)	70,143	〔主な収入〕		大分県補助金	2,301千円	寄附金(支援型自動販売機等)	1,268千円	賛助会費	996千円	〔主な支出〕		移植コーディネーター活動費	2,109千円
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	4,980	資産	70,207																																													
経常費用	4,113	流動資産	5,557																																													
当期経常増減額	867	固定資産	64,650																																													
経常外収益	0	負債	64																																													
経常外費用	0	流動負債	64																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																													
当期正味財産増減額	867	正味財産(純資産)	70,143																																													
〔主な収入〕																																																
大分県補助金	2,301千円																																															
寄附金(支援型自動販売機等)	1,268千円																																															
賛助会費	996千円																																															
〔主な支出〕																																																
移植コーディネーター活動費	2,109千円																																															
5	問題点及び懸案事項	1 収入源の約5割を県補助金に依存する中で、自主財源をいかに確保・拡大していくのが、長年の課題であった。 2 このため、支援型自動販売機の設置や募金活動を積極的に実施することで、平成26年度以来6年連続で黒字を達成しており、経営状況は安定しつつある。																																														
6	対策及び処理状況	平成25年度から支援型自動販売機の設置活動を進めるとともに、26年度からは募金箱の設置も進めており、自主財源の確保に努めている。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等10施設に15台設置。 (H30:15台、799千円 → R元:15台、783千円) ※募金箱は35医療機関に設置。(H30:249千円 → R元:335千円) 引き続き、経営安定を図りながら、臓器移植に関する県民の理解を深め、腎移植希望者(県内56名)とドナーとのマッチングを図っていく。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体08

(課・室名) 食品・生活衛生課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県生活衛生営業指導センター 理事長 野田 皆子																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 40.0% 5,000千円																																																						
3	事業内容	<p>「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」第57条の3に基づき、昭和58年3月に設立した知事指定団体</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活衛生関係営業に対する相談、指導</li> <li>2 情報化整備事業</li> <li>3 後継者育成支援事業</li> <li>4 経営指導のための調査事業</li> <li>5 標準営業約款事業</li> <li>6 クリーニング師研修等事業</li> </ol>																																																						
4	元年度決算状況	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>20,471</td> <td>資産</td> <td>14,239</td> </tr> <tr> <td>(うち受取補助金)</td> <td>(17,619)</td> <td>流動資産</td> <td>2,453</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>20,334</td> <td>固定資産</td> <td>11,786</td> </tr> <tr> <td>(うち事業費)</td> <td>(17,619)</td> <td>負債</td> <td>1,044</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>137</td> <td>流動負債</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>837</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>13,195</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>8,195</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>137</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>13,195</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>137</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	20,471	資産	14,239	(うち受取補助金)	(17,619)	流動資産	2,453	経常費用	20,334	固定資産	11,786	(うち事業費)	(17,619)	負債	1,044	当期経常増減額	137	流動負債	207	経常外収益	0	固定負債	837	経常外費用	0	正味財産(純資産)	13,195	当期経常外増減額	0	一般正味財産	8,195	当期一般正味財産増減額	137	指定正味財産	5,000	当期指定正味財産増減額	0			正味財産期末残高	13,195			当期正味財産増減額	137		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
経常収益	20,471	資産	14,239																																																					
(うち受取補助金)	(17,619)	流動資産	2,453																																																					
経常費用	20,334	固定資産	11,786																																																					
(うち事業費)	(17,619)	負債	1,044																																																					
当期経常増減額	137	流動負債	207																																																					
経常外収益	0	固定負債	837																																																					
経常外費用	0	正味財産(純資産)	13,195																																																					
当期経常外増減額	0	一般正味財産	8,195																																																					
当期一般正味財産増減額	137	指定正味財産	5,000																																																					
当期指定正味財産増減額	0																																																							
正味財産期末残高	13,195																																																							
当期正味財産増減額	137																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>組合の加入率は、令和元年度から令和2年度にかけて増加しているが、依然として低い水準で推移している。今後も事業者のニーズに応じた、きめ細かな相談や指導を行うなど、組合加入を促進していく必要がある。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響により経営状況が悪化した事業者に対する相談体制の強化が求められる。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>組合への加入促進を図るため、引き続き、事業者に向けた丁寧な指導や融資相談を行っていくとともに、新規開業者に対しては、加入メリットを説明するなど、積極的に働きかけていく。</p> <p>日本政策金融公庫内に臨時相談窓口を開設し、新型コロナウイルスの影響で経営状況が悪化した事業者が速やかに貸付金を申請できるよう、融資相談を行っている。また、中小企業診断士等と連携し、経営等に関する相談会を実施している。</p>																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体09

(課・室名) 工業振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県産業創造機構 理事長 姫野清高 (R2.6.26～吉村恭彰)																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	206,000千円 23.4% 881,520千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経営課題に対する総合相談及び指導</li> <li>2 取引の振興及び販路拡大の支援</li> <li>3 新事業・新技術の創出支援</li> <li>4 人材育成支援</li> <li>5 産業、経済等に関する調査研究及び情報提供</li> </ol>																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>602,813</td> <td>資産</td> <td>7,433,480</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>601,865</td> <td>流動資産</td> <td>355,531</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>948</td> <td>固定資産</td> <td>7,077,949</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>385</td> <td>負債</td> <td>6,175,970</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>295,988</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>385</td> <td>固定負債</td> <td>5,879,982</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>1,333</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,257,510</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>377,776</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,257,510</td> <td>指定正味財産</td> <td>879,734</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>1,333</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	602,813	資産	7,433,480	経常費用	601,865	流動資産	355,531	当期経常増減額	948	固定資産	7,077,949	経常外収益	385	負債	6,175,970	経常外費用	0	流動負債	295,988	当期経常外増減額	385	固定負債	5,879,982	当期一般正味財産増減額	1,333	正味財産(純資産)	1,257,510	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	377,776	正味財産期末残高	1,257,510	指定正味財産	879,734	当期正味財産増減額	1,333		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	602,813	資産	7,433,480																																													
経常費用	601,865	流動資産	355,531																																													
当期経常増減額	948	固定資産	7,077,949																																													
経常外収益	385	負債	6,175,970																																													
経常外費用	0	流動負債	295,988																																													
当期経常外増減額	385	固定負債	5,879,982																																													
当期一般正味財産増減額	1,333	正味財産(純資産)	1,257,510																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	377,776																																													
正味財産期末残高	1,257,510	指定正味財産	879,734																																													
当期正味財産増減額	1,333																																															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域を取り巻く環境が大きく変化する中、県内中小企業の新たな活力創造と競争力の強化を推進する「中核的支援機関」としての役割を効果的に発揮するため、機構が果たすべき役割の再検証と、機構自体の将来への持続性ある経営基盤の安定化を図ることが重要。</li> <li>2 低金利で基金運用収入の増加が見込めない中、外部資金等の収入確保に努める必要がある。また、支援機関としての機能の確保と質の向上を図るため、優秀な職員の確保と育成に努める必要がある。</li> </ol>																																														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「地域イノベーションの創出」等3つの柱を掲げた第二期中期経営計画(H29～31)に取り組んだ結果、計画に定める成果指標については、31件中27件が数値目標を上回っており、計画の着実な推進を図ることができた。R2年度からは、第三期中期経営計画に従って、イノベーション支援や経営力の安定・強化等に取り組んでいく。</li> <li>2 経営基盤の安定化に向け、会員増や国の委託事業等外部資金の活用により、収支均衡に向けた取組を強化。併せて、職員を計画的に採用し、職員の資格取得や研修参加を促進、人材育成を図る。</li> </ol>																																														



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体10

(課・室名) 先端技術挑戦室

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上憲郎		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 35.0% 429,000千円		
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>ハイパーネットワーク社会に関する調査・研究及び実証実験</li> <li>ハイパーネットワーク社会に関する研究発表会等の開催</li> <li>ハイパーネットワーク社会に関する情報の収集及び提供</li> <li>ハイパーネットワーク社会に関する市民や組織を対象にした情報化の普及啓発及びコンサルティング</li> <li>ハイパーネットワーク社会構築推進のための企画及び運営</li> <li>ハイパーネットワーク社会に関する内外関係機関等との交流及び協力</li> </ol>		
4	元年度決算状況	○正味財産増減計算書（千円） 経常収益 142,374 経常費用 143,908 当期経常増減額 ▲1,534 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 ▲1,534 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 410,733 当期正味財産増減額 ▲1,534	○貸借対照表（千円） 資産 487,524 流動資産 81,937 固定資産 405,587 負債 76,791 流動負債 76,791 固定負債 0 正味財産（純資産） 410,733 一般正味財産 11,733 指定正味財産 399,000	
5	問題点及び懸案事項	<p>令和元年度決算は、2期ぶりの赤字となる約1,534千円の収支マイナスとなった。新型コロナウイルス感染症の影響により一部イベント等が中止となったことに加え、国等の新規事業の獲得が進まなかったことが要因と考えられる。</p> <p>安定した経営基盤の確立を図るために、委託事業等の獲得による収入確保に努めるとともに、中長期的視点で、収支の均衡を図る仕組みを検討する必要がある。</p>		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>企業への訪問等により賛助会員企業の拡大に努めるほか、既存事業の継続確保や新規事業の獲得に加え、自主財源を作り出す新たな仕組みの検討を行う。</li> <li>今後も定期的なモニタリングを継続的に行い、令和元年度に施行された中期経営計画に沿って経営基盤強化に向けた取組を明確化する。</li> </ol>		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体11

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	公益財団法人日田玖珠地域産業振興センター 理事長 原田 啓介			
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,600千円 32.0% 5,000千円			
3	事業内容	1 日田玖珠地域の地場産業に対する支援及び地場産品の需要調査、市場開拓に関する事業の実施 2 日田玖珠地域産業振興センター及び日田市アンテナショップ「ひた生活領事館」における地場産品の展示販売 3 日田玖珠地域産業振興センター内会議室等の貸し出し			
4	元年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 146,782 経常費用 131,877 当期経常増減額 14,905 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 14,905 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 468,894 当期正味財産増減額 14,905	○貸借対照表(千円) 資産 498,980 流動資産 59,167 固定資産 439,813 負債 30,086 流動負債 19,973 固定負債 10,113 正味財産(純資産) 468,894 一般正味財産 463,894 指定正味財産 5,000		
5	問題点及び懸案事項	1 アンテナショップの販売額は、夏場の天候不良により果物等の出荷が大幅に減少したこと等により減少した。一方、ふるさと納税返礼品による販売額が好調に推移したこと等により、3期連続で黒字を達成することができた。 2 事業収益となるアンテナショップ等の販売手数料や、貸室使用料の増収に一層取り組み、収支の安定と経営の改善を図る必要がある。 3 新型コロナウイルスの感染拡大や、豪雨災害による被害により運営に大きな影響を受けることが懸念されるため、対策を講じる必要がある。			
6	対策及び処理状況	1 アンテナショップ及びふるさと納税返礼品による地場産品販売を強化するため、地域が有する特色ある資源を活用した商品発掘や情報発信に取り組む。 2 大手百貨店やスーパー等で開催される物産展に出展することによって、地場産品の販売促進や広報活動を展開する。 3 県としては、最大出捐者である日田市と協議し、関係機関とも連携しながら、収入確保と経営改善につなげるための支援を行う。			

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体12

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分ブランドクリエイイト株式会社 代表取締役 安田 恒																																																						
2	県出資金	50,000千円																																																						
	出資比率	52.6%																																																						
	資本金等の総額	95,000千円																																																						
3	事業内容	大分県フラッグショップ「坐来大分」の運営 1 大分県産の食材を使ったレストランの経営 2 大分県特産品の販売																																																						
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>159,690</td> <td>資産</td> <td>67,095</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>51,117</td> <td>流動資産</td> <td>63,182</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>108,572</td> <td>固定資産</td> <td>3,913</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>113,258</td> <td>負債</td> <td>13,929</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲4,685</td> <td>流動負債</td> <td>13,589</td> </tr> <tr> <td>営業外利益</td> <td>1,579</td> <td>固定負債</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,104</td> <td>純資産</td> <td>53,166</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲4,211</td> <td>資本金</td> <td>77,500</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>100</td> <td>資本準備金</td> <td>17,500</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>▲4,311</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲41,834</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>363</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲4,673</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	159,690	資産	67,095	売上原価	51,117	流動資産	63,182	売上総利益	108,572	固定資産	3,913	販売費及び一般管理費	113,258	負債	13,929	営業利益	▲4,685	流動負債	13,589	営業外利益	1,579	固定負債	340	営業外費用	1,104	純資産	53,166	経常利益	▲4,211	資本金	77,500	特別損失	100	資本準備金	17,500	税引前当期純利益	▲4,311	利益剰余金	▲41,834	法人税、住民税及び事業税	363			当期純利益	▲4,673		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	159,690	資産	67,095																																																					
売上原価	51,117	流動資産	63,182																																																					
売上総利益	108,572	固定資産	3,913																																																					
販売費及び一般管理費	113,258	負債	13,929																																																					
営業利益	▲4,685	流動負債	13,589																																																					
営業外利益	1,579	固定負債	340																																																					
営業外費用	1,104	純資産	53,166																																																					
経常利益	▲4,211	資本金	77,500																																																					
特別損失	100	資本準備金	17,500																																																					
税引前当期純利益	▲4,311	利益剰余金	▲41,834																																																					
法人税、住民税及び事業税	363																																																							
当期純利益	▲4,673																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>1 令和元年度決算では、主力のレストランの売上が1月までは好調だったものの、2月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響によるキャンセルの激増及び需要低下により、6期連続の経常黒字を達成できなかった。累積赤字の早期解消に向け、コロナ禍を見据えた集客力の強化と収益の確保に努める必要がある。</p> <p>2 大分ブランドの確立と県産品の販路拡大のため、メディアやバイヤー、有名シェフ、首都圏県産品取扱店等とのネットワークの拡大、地域フェアや商談会の開催、県産品の商品開発等に有益な情報の生産者へのフィードバックなど、「坐来大分」のフラッグショップとして担うべき機能をさらに充実していく必要がある。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>1 令和2年度は、コロナ禍を機に、徹底した原価管理や感染防止対策に努めるとともに、ランチ営業や折詰のテイクアウト、手土産の開発とオンライン販売による新たな客層への訴求など、新規顧客の開拓を行うことで収益を確保し、経営の安定化を図っていく必要がある。</p> <p>2 リニューアルしたホームページやSNSの積極的な活用、語り部スタッフの研修、商談会や地域フェアの開催など、大分の情報発信に努めるとともに県産品の露出機会を増やすなど、大分県のフラッグショップとしての機能を一層強化する。</p>																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体13

(課・室名) 雇用労働政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県総合雇用推進協会 会長 杉原正晴																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	866,620千円 73.5% 1,178,492千円																																														
3	事業内容	1 若年者雇用・人材定住促進対策に関する事業 (1) 人材定住に関する事業 (2) 若年者等の就職に関する事業 2 高齢者・障がい者雇用対策に関する事業 (1) 生涯現役社会実現環境整備に関する事業 (2) 高齢者雇用支援に関する事業 (3) 障がい者の雇用促進に関する事業 3 上記2事業の広報啓発に関する事業																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>216,288</td> <td>資産</td> <td>1,341,744</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>208,380</td> <td>流動資産</td> <td>82,549</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>7,908</td> <td>固定資産</td> <td>1,259,196</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>50</td> <td>負債</td> <td>22,624</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>17,777</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>50</td> <td>固定負債</td> <td>4,847</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>7,958</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,319,120</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲29,993</td> <td>一般正味財産</td> <td>82,194</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,319,120</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,236,926</td> </tr> <tr> <td><u>当期正味財産増減額</u></td> <td><u>▲22,035</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 当期正味財産増減額▲22,035千円は、人材定住基金の取り崩しなどによる。</p>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	216,288	資産	1,341,744	経常費用	208,380	流動資産	82,549	当期経常増減額	7,908	固定資産	1,259,196	経常外収益	50	負債	22,624	経常外費用	0	流動負債	17,777	当期経常外増減額	50	固定負債	4,847	当期一般正味財産増減額	7,958	正味財産(純資産)	1,319,120	当期指定正味財産増減額	▲29,993	一般正味財産	82,194	正味財産期末残高	1,319,120	指定正味財産	1,236,926	<u>当期正味財産増減額</u>	<u>▲22,035</u>		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	216,288	資産	1,341,744																																													
経常費用	208,380	流動資産	82,549																																													
当期経常増減額	7,908	固定資産	1,259,196																																													
経常外収益	50	負債	22,624																																													
経常外費用	0	流動負債	17,777																																													
当期経常外増減額	50	固定負債	4,847																																													
当期一般正味財産増減額	7,958	正味財産(純資産)	1,319,120																																													
当期指定正味財産増減額	▲29,993	一般正味財産	82,194																																													
正味財産期末残高	1,319,120	指定正味財産	1,236,926																																													
<u>当期正味財産増減額</u>	<u>▲22,035</u>																																															
5	問題点及び懸案事項	1 平成28年度から、人材定住基金を活用し、自主事業を安定的に実施することとしたが、雇用促進等に効果的に繋げていく必要がある。 2 採用意欲のある県内中小企業の人材確保支援のため、採用活動の多様化・早期化に対応した支援を実施する必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 法人の実施する自主事業が「大分県長期総合計画」の推進に積極的な役割を果たし、県や国からの委託事業と相乗効果が発揮できるようにするため、定期的な協議の場を設け、積極的に意見調整を行う。 2 新規学卒者等対象合同説明会の実施やUIJターン就職の支援を行うとともに、新たに企業のデジタル求人広告等への支援を行うほか、高齢者・障がい者の雇用推進に取り組む。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体14

(課・室名) 観光政策課

項	目	概	要	等		
1	法人名及び代表者名	公益社団法人ツーリズムおおいた 会長 幸 重 綱 二				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円 (県職員を業務援助のために継続的に3名派遣)				
3	事業内容	<p>国内外観光宣伝及び観光客の誘致、観光・地域振興事業の実施、観光地の環境整備、観光情報・地域総合情報の提供、観光従事者の資質向上、観光・地域づくり事業に係る調査研究及び指導、観光・地域づくり関係機関及び団体との連絡調整等を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インバウンド推進事業</li> <li>2 国内誘客総合対策事業</li> <li>3 県域版DMO推進事業</li> <li>4 おもてなし人材育成事業</li> </ol>				
4	元年度決算状況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○正味財産増減計算書 (千円)</p> <p>経常収益 369,726</p> <p>経常費用 365,499</p> <p>当期経常増減額 4,227</p> <p>経常外収益 0</p> <p>経常外費用 0</p> <p>当期経常外増減額 0</p> <p>当期一般正味財産増減額 4,227</p> <p>当期指定正味財産増減額 9,665</p> <p>正味財産期末残高 39,627</p> <p><u>当期正味財産増減額 13,892</u></p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○貸借対照表 (千円)</p> <p>資産 98,585</p> <p>流動資産 74,556</p> <p>固定資産 24,029</p> <p>負債 58,958</p> <p>流動負債 58,958</p> <p>固定負債 0</p> <p>正味財産 (純資産) 39,627</p> <p>一般正味財産 15,598</p> <p>指定正味財産 24,029</p> </td> </tr> </table>			<p>○正味財産増減計算書 (千円)</p> <p>経常収益 369,726</p> <p>経常費用 365,499</p> <p>当期経常増減額 4,227</p> <p>経常外収益 0</p> <p>経常外費用 0</p> <p>当期経常外増減額 0</p> <p>当期一般正味財産増減額 4,227</p> <p>当期指定正味財産増減額 9,665</p> <p>正味財産期末残高 39,627</p> <p><u>当期正味財産増減額 13,892</u></p>	<p>○貸借対照表 (千円)</p> <p>資産 98,585</p> <p>流動資産 74,556</p> <p>固定資産 24,029</p> <p>負債 58,958</p> <p>流動負債 58,958</p> <p>固定負債 0</p> <p>正味財産 (純資産) 39,627</p> <p>一般正味財産 15,598</p> <p>指定正味財産 24,029</p>
<p>○正味財産増減計算書 (千円)</p> <p>経常収益 369,726</p> <p>経常費用 365,499</p> <p>当期経常増減額 4,227</p> <p>経常外収益 0</p> <p>経常外費用 0</p> <p>当期経常外増減額 0</p> <p>当期一般正味財産増減額 4,227</p> <p>当期指定正味財産増減額 9,665</p> <p>正味財産期末残高 39,627</p> <p><u>当期正味財産増減額 13,892</u></p>	<p>○貸借対照表 (千円)</p> <p>資産 98,585</p> <p>流動資産 74,556</p> <p>固定資産 24,029</p> <p>負債 58,958</p> <p>流動負債 58,958</p> <p>固定負債 0</p> <p>正味財産 (純資産) 39,627</p> <p>一般正味財産 15,598</p> <p>指定正味財産 24,029</p>					
5	問題点及び懸案事項	<p>ツーリズム戦略に基づく本県観光振興の牽引役として、各種の企画及び立案ができるよう組織体制強化が不可欠である。</p> <p>また、持続可能な事業実施のため財政基盤の確保も重要である。</p>				
6	対策及び処理状況	<p>県域版DMOプラットフォーム機能やマーケティング機能の確立、魅力ある旅行商品等の開発・販売による自主財源 (会費、収益事業) 増強等に取り組み、DMO (観光地域づくりを多様な主体とともに戦略的に取り組む調整機能を備えた法人) としての態勢強化を図る。</p>				

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体15

(課・室名) 農地活用・集落営農課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県農業農村振興公社 理事長 森本 亨 (前農林水産部審議監) (R2.4.1～光長 伸彦) (農林水産部審議監)																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	463,333千円 64.4% 720,000千円																								
3	事業内容	1 農地の利用の効率化や高度化に関する事業(農地中間管理事業) 2 畜産公共事業 3 担い手対策・就農支援資金貸付事業 4 大規模リース団地整備支援対策事業 5 世界農業遺産に関する事業 6 大分農業文化公園・都市農村交流研修館管理運営受託事業																								
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 968,776</td> <td>資産 9,333,081</td> </tr> <tr> <td>経常費用 1,112,829</td> <td>流動資産 396,463</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 ▲144,053</td> <td>固定資産 8,936,618</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 25,722</td> <td>負債 6,719,364</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 77,821</td> <td>流動負債 1,861,028</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 ▲52,099</td> <td>固定負債 4,858,336</td> </tr> <tr> <td>法人税等 71</td> <td>正味財産(純資産) 2,613,717</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 ▲196,223</td> <td>一般正味財産 1,623,987</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 52,099</td> <td>指定正味財産 989,730</td> </tr> <tr> <td><u>当期正味財産増減額 ▲144,124</u></td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲144,124千円の主な要因                      ・大規模リース事業▲135,185千円(大規模リース事業の新規地区:無)</p>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 968,776	資産 9,333,081	経常費用 1,112,829	流動資産 396,463	当期経常増減額 ▲144,053	固定資産 8,936,618	経常外収益 25,722	負債 6,719,364	経常外費用 77,821	流動負債 1,861,028	当期経常外増減額 ▲52,099	固定負債 4,858,336	法人税等 71	正味財産(純資産) 2,613,717	当期一般正味財産増減額 ▲196,223	一般正味財産 1,623,987	当期指定正味財産増減額 52,099	指定正味財産 989,730	<u>当期正味財産増減額 ▲144,124</u>	
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																									
経常収益 968,776	資産 9,333,081																									
経常費用 1,112,829	流動資産 396,463																									
当期経常増減額 ▲144,053	固定資産 8,936,618																									
経常外収益 25,722	負債 6,719,364																									
経常外費用 77,821	流動負債 1,861,028																									
当期経常外増減額 ▲52,099	固定負債 4,858,336																									
法人税等 71	正味財産(純資産) 2,613,717																									
当期一般正味財産増減額 ▲196,223	一般正味財産 1,623,987																									
当期指定正味財産増減額 52,099	指定正味財産 989,730																									
<u>当期正味財産増減額 ▲144,124</u>																										
5	問題点及び懸案事項	1 大規模リース団地整備支援対策事業は、毎年の事業規模や繰越の有無等が決算状況を大きく左右する要因となっており、事業量の安定確保と事業量に応じた体制づくりが課題である。 2 農業文化公園は、入園者数が昨年度比123%となる29万4千人で、物販・飲食収入も増加したが、入園者数の目標達成に向けて、引き続き努力が必要である。 3 農地中間管理事業は、受け手の機構利用の一巡などもあり、前年度を下回る結果となった。																								
6	対策及び処理状況	1 大規模リース団地整備支援対策事業等は、適正な予算確保に向けて、新規実施地区の確保や県・市町との連携強化により安定した事業量の確保に努める。 2 農業文化公園は、観光企業や報道機関への働きかけを強化するとともに、SNS等を活用した情報発信など引き続き広報活動に力を入れる。 3 農地利用集積円滑化事業と農地中間管理事業が統合されることから、農業委員会など関係機関との連携をさらに強化し、農地の集積・集約化を一体的に推進する。																								

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体16

(課・室名) 農地活用・集落営農課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県主要農作物改善協会 代表理事 佐 土 原 斉																																														
2	県 出 資 金	8,000千円																																														
	出 資 比 率	40.0%																																														
	資本金等の総額	20,000千円																																														
3	事業内容	1 種子対策事業（主要農作物の種子の確保及び供給等） 2 品質改善対策事業（優良種子の確保）																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>79,043</td> <td>資産</td> <td>132,857</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>63,726</td> <td>流動資産</td> <td>112,857</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>15,318</td> <td>固定資産</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>12,963</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>12,963</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>15,318</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>119,895</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>119,895</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>119,895</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>15,318</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	79,043	資産	132,857	経常費用	63,726	流動資産	112,857	当期経常増減額	15,318	固定資産	20,000	経常外収益	0	負債	12,963	経常外費用	0	流動負債	12,963	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	15,318	正味財産（純資産）	119,895	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	119,895	正味財産期末残高	119,895	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	15,318		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
経常収益	79,043	資産	132,857																																													
経常費用	63,726	流動資産	112,857																																													
当期経常増減額	15,318	固定資産	20,000																																													
経常外収益	0	負債	12,963																																													
経常外費用	0	流動負債	12,963																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																													
当期一般正味財産増減額	15,318	正味財産（純資産）	119,895																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	119,895																																													
正味財産期末残高	119,895	指定正味財産	0																																													
当期正味財産増減額	15,318																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>1 稲・麦・大豆種子の供給不足が生じないよう、種子確保を行う必要があるが、不良在庫が大量に発生しないよう計画的な採種に努める必要がある。</p> <p>2 主要農作物種子法を廃止する法律が平成30年4月1日に施行されたが、同日付で大分県主要農作物種子制度基本要綱を施行しており、本要綱の趣旨に沿って安定的な種子生産を継続していくことが必要である。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>1 種子確保については、品種ごとの需要動向を勘案した上で県と計画的な採種を実施するとともに、種子在庫状況については、半期ごとに県に報告している。</p> <p>2 県要綱に基づき安定的な種子生産を継続する。</p>																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体17

(課・室名) 農地活用・集落営農課

項	目	概	要	等																																
1	法人名及び代表者名	一般社団法人大分県農業会議 会長 正 田 忠 公																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円 (県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体)																																		
3	事業内容	1 農業委員会等活動強化支援事業 2 機構集積支援事業 3 農業者年金業務委託事業 4 農の雇用事業																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>58,270</td> <td>資産</td> <td>37,453</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>59,175</td> <td>流動資産</td> <td>37,453</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲905</td> <td>固定資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲905</td> <td>負債</td> <td>36,784</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>21,619</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲905</td> <td>固定負債</td> <td>15,164</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>669</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	58,270	資産	37,453	経常費用	59,175	流動資産	37,453	当期経常増減額	▲905	固定資産	0	当期一般正味財産増減額	▲905	負債	36,784	当期指定正味財産増減額	0	流動負債	21,619	当期正味財産増減額	▲905	固定負債	15,164			正味財産(純資産)	669
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																		
経常収益	58,270	資産	37,453																																	
経常費用	59,175	流動資産	37,453																																	
当期経常増減額	▲905	固定資産	0																																	
当期一般正味財産増減額	▲905	負債	36,784																																	
当期指定正味財産増減額	0	流動負債	21,619																																	
当期正味財産増減額	▲905	固定負債	15,164																																	
		正味財産(純資産)	669																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>1 基本的に財産を有しない団体であるので、収入のほぼ全額が補助金委託料、拠出金によってまかなわれており、財政的に厳しいものがある。</p> <p>2 大分県農業会議は、農業委員会のサポート業務を担う「農業委員会ネットワーク機構」として、県の指定(H28～)を受けており、農業委員会に対する支援等の業務の適正な実施が求められている。</p>																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 国庫補助金・委託料等の予算削減に伴い財政的に厳しい状況となっているが、人件費等の抑制や事務経費の削減を図るとともに、一人あたりの業務効率化を図ることで、引き続き財務体質の強化に努める。</p> <p>2 R2年度は、農業委員の改選が多いことから、新任農業委員に対する研修を充実させるなど、資質の向上を図るとともに、農業委員会事務局長会議を開催し、委員会相互のネットワークの強化を図る。</p>																																		



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体18

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県畜産協会 会長 近藤和義																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	125,000千円 44.9% 278,240千円																																														
3	事業内容	<p>○畜産経営の安定的発展と畜産振興を促進する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>畜産経営体に対する経営及び技術改善指導等を実施する事業</li> <li>畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補てんする事業</li> <li>消費者ニーズに沿った生産を推進する事業</li> <li>家畜衛生対策を推進する事業</li> <li>種畜（肉用牛、豚）の改良を推進する事業</li> <li>一般消費者に対し畜産への理解を深めてもらうための事業</li> </ol>																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>277,907</td> <td>資産</td> <td>1,697,730</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>276,667</td> <td>流動資産</td> <td>140,458</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>1,240</td> <td>固定資産</td> <td>1,557,272</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>1,343,990</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>58,892</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>1,285,098</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>1,240</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>353,740</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>353,740</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>353,740</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>1,240</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	277,907	資産	1,697,730	経常費用	276,667	流動資産	140,458	当期経常増減額	1,240	固定資産	1,557,272	経常外収益	0	負債	1,343,990	経常外費用	0	流動負債	58,892	当期経常外増減額	0	固定負債	1,285,098	当期一般正味財産増減額	1,240	正味財産（純資産）	353,740	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	353,740	正味財産期末残高	353,740	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	1,240		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
経常収益	277,907	資産	1,697,730																																													
経常費用	276,667	流動資産	140,458																																													
当期経常増減額	1,240	固定資産	1,557,272																																													
経常外収益	0	負債	1,343,990																																													
経常外費用	0	流動負債	58,892																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	1,285,098																																													
当期一般正味財産増減額	1,240	正味財産（純資産）	353,740																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	353,740																																													
正味財産期末残高	353,740	指定正味財産	0																																													
当期正味財産増減額	1,240																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>平成30年度は444千円の赤字となったが、経費削減や事業の積極的受け入れにより、令和元年度は黒字へ転換した。</p> <p>現在、畜産農家については、コロナ禍による経営悪化が懸念されており、支援団体として畜産農家に対する効果的な支援が求められている。</p> <p>○これまでの財産残高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期財産増減額</td> <td>1,736</td> <td>19,880</td> <td>1,919</td> <td>▲ 444</td> <td>1,240</td> </tr> <tr> <td>財産期末残高</td> <td>331,145</td> <td>351,025</td> <td>352,944</td> <td>352,500</td> <td>353,740</td> </tr> </tbody> </table>				H27	H28	H29	H30	R1	当期財産増減額	1,736	19,880	1,919	▲ 444	1,240	財産期末残高	331,145	351,025	352,944	352,500	353,740																										
	H27	H28	H29	H30	R1																																											
当期財産増減額	1,736	19,880	1,919	▲ 444	1,240																																											
財産期末残高	331,145	351,025	352,944	352,500	353,740																																											
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>引き続き事務の効率化を積極的に行い事務費等の縮減に努める。</li> <li>国の新規事業等に取り組むとともに、各種経営安定対策制度を推進し事務手数料を確保するなど、自主財源の安定的確保を図る。</li> <li>今後も地域の活性化を図るため、畜産の規模拡大や経営改善を促進する事業に取り組み、畜産振興に努める。</li> <li>新型コロナウイルス対策事業の受け入れを積極的に行い、畜産農家の支援を行う。</li> </ol>																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体19

(課・室名) 林務管理課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益財団法人森林ネットおおいた 理事長 重本 悟																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,200,000千円 75.0% 4,268,075千円																																										
3	事業内容	1 林業労働力確保促進事業（各種保険等への助成、機械リース等） 2 林業研修事業（林業研修所の指定管理受託、おおいた林業アカデミーの実施） 3 森林整備事業（県営林の管理等） 4 緑化推進事業（緑の募金事業、緑化啓発等） 5 県民の森事業（県民の森の指定管理受託） 6 付帯事業（県営林毎木調査等収益事業）																																										
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>758,973</td> <td>資産</td> <td>5,178,945</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>745,661</td> <td>流動資産</td> <td>718,636</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>13,311</td> <td>固定資産</td> <td>4,460,309</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>149,643</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>145</td> <td>流動負債</td> <td>149,643</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>13,166</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲424</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>5,029,302</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>12,742</td> <td>一般正味財産</td> <td>5,027,192</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>指定正味財産</td> <td>2,110</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	758,973	資産	5,178,945	経常費用	745,661	流動資産	718,636	当期経常増減額	13,311	固定資産	4,460,309	当期経常外増減額	0	負債	149,643	法人税等	145	流動負債	149,643	当期一般正味財産増減額	13,166	固定負債	0	当期指定正味財産増減額	▲424	正味財産（純資産）	5,029,302	当期正味財産増減額	12,742	一般正味財産	5,027,192			指定正味財産	2,110
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																										
経常収益	758,973	資産	5,178,945																																									
経常費用	745,661	流動資産	718,636																																									
当期経常増減額	13,311	固定資産	4,460,309																																									
当期経常外増減額	0	負債	149,643																																									
法人税等	145	流動負債	149,643																																									
当期一般正味財産増減額	13,166	固定負債	0																																									
当期指定正味財産増減額	▲424	正味財産（純資産）	5,029,302																																									
当期正味財産増減額	12,742	一般正味財産	5,027,192																																									
		指定正味財産	2,110																																									
5	問題点及び懸案事項	1 令和元年度決算では、効率的な事業実施により12,742千円の収益を計上 2 経営の安定化を図るためには、基本財産の安全かつ効率的な運用による運用益確保と事業の効率化が必要  ・経営状況の推移 ① 目標及び決算数値（当期正味財産増減額）（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標増減額</td> <td>5,808</td> <td>17,715</td> <td>8,509</td> <td>2,044</td> </tr> <tr> <td>決算増減額</td> <td>32,317</td> <td>23,156</td> <td>12,014</td> <td>12,742</td> </tr> </tbody> </table> ② 基本財産の運用益の推移（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金 額</td> <td>96,776</td> <td>94,702</td> <td>98,149</td> <td>83,200</td> <td>84,622</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	H28	H29	H30	R元	目標増減額	5,808	17,715	8,509	2,044	決算増減額	32,317	23,156	12,014	12,742	年 度	H27	H28	H29	H30	R元	金 額	96,776	94,702	98,149	83,200	84,622													
年 度	H28	H29	H30	R元																																								
目標増減額	5,808	17,715	8,509	2,044																																								
決算増減額	32,317	23,156	12,014	12,742																																								
年 度	H27	H28	H29	H30	R元																																							
金 額	96,776	94,702	98,149	83,200	84,622																																							
6	対策及び処理状況	中期経営計画（H30～R4）に基づき、引き続き安定した経営に努めるとともに、人材の確保・育成を図ることで持続的に事業実施が可能な体制を構築する。																																										

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体20

(課・室名) 水産振興課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県漁業公社 理事長 景平 真明 (農林水産部審議監)		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 59.2% 84,400千円		
3	事業内容	1 放流用種苗の生産・販売及びあっせん 2 養殖用種苗の生産・販売及びあっせん		
4	元年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 178,521 経常費用 176,946 当期経常増減額 1,575 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 法人税等 121 当期正味財産増減額 1,454	○貸借対照表(千円) 資産 143,727 流動資産 90,103 固定資産 53,624 負債 31,990 流動負債 12,843 固定負債 19,147 正味財産(純資産) 111,737	
5	問題点及び懸案事項	放流及び養殖用種苗の需要の変動、材料費や光熱費等のコストの高騰など経営環境が厳しい中、6年連続で黒字決算となっているが、施設の老朽化により生産業務に支障を来している箇所が多く、施設の更新・補修も課題となっていることから、さらなる収支改善に努める必要がある。		
6	対策及び処理状況	燃油消費量の低減など職員のコスト意識の徹底により、経費削減を図るとともに、種苗の安定的生産及び多様な需要への対応により収入の確保に努める。 なお、老朽化が著しい国東事業場の施設については、現在地での建替を計画している。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体21

(課・室名) 建設政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県建設技術センター 理事長 阿部 洋 祐																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	20,000千円 66.7% 30,000千円																																														
3	事業内容	1 社会資本の整備及び県土づくりを担う人材育成に向けた技術・技能の研修、普及啓発及び情報提供事業 2 社会資本の整備や維持管理、県土づくり等に関する技術相談及び積算、技術審査、品質監理、検査等に係る支援事業 3 社会資本の品質確保に係る各種材料試験及び調査研究事業 4 社会資本の情報化へ向けての支援事業 5 その他目的を達成するために必要な事業																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>391,653</td> <td>資産</td> <td>1,386,745</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>318,040</td> <td>流動資産</td> <td>180,387</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>73,613</td> <td>固定資産</td> <td>1,206,358</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>117,009</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>35,304</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>81,705</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>73,613</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,269,736</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲1,028</td> <td>一般正味財産</td> <td>1,239,736</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,269,736</td> <td>指定正味財産</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>72,585</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	391,653	資産	1,386,745	経常費用	318,040	流動資産	180,387	当期経常増減額	73,613	固定資産	1,206,358	経常外収益	0	負債	117,009	経常外費用	0	流動負債	35,304	当期経常外増減額	0	固定負債	81,705	当期一般正味財産増減額	73,613	正味財産(純資産)	1,269,736	当期指定正味財産増減額	▲1,028	一般正味財産	1,239,736	正味財産期末残高	1,269,736	指定正味財産	30,000	当期正味財産増減額	72,585		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	391,653	資産	1,386,745																																													
経常費用	318,040	流動資産	180,387																																													
当期経常増減額	73,613	固定資産	1,206,358																																													
経常外収益	0	負債	117,009																																													
経常外費用	0	流動負債	35,304																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	81,705																																													
当期一般正味財産増減額	73,613	正味財産(純資産)	1,269,736																																													
当期指定正味財産増減額	▲1,028	一般正味財産	1,239,736																																													
正味財産期末残高	1,269,736	指定正味財産	30,000																																													
当期正味財産増減額	72,585																																															
5	問題点及び懸案事項	1 建設産業従事者の減少を踏まえた担い手確保、県土づくりを担う建設人材の育成、新技術を使った生産性向上など幅広い分野での貢献が必要である。 2 公益財団法人として安定的な法人運営を継続しながら、県及び市町村の支援・補完機関として、さらに体制や連携の強化を図る必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 建設業関連団体、教育機関、自治体と連携した情報発信や高校生の現場体験学習会などの担い手確保のための活動を実施するとともに、民間建設業関係者も含めた技術・技能向上のための研修事業の充実に取り組む。 2 県・市町村の支援・補完機関として、相談業務、積算業務、施工監理、技術者育成、災害等緊急時の支援など、ニーズに合わせた的確な事業を実施する。特に、県・市町村が共同利用する積算システムの構築に取り組み、一括管理による積算業務の効率化や災害発生時の応援体制の円滑化を図る。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体22

(課・室名) 用地対策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県土地開発公社 理事長 諏訪 義治																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	30,000千円 100% 30,000千円																																																		
3	事業内容	<p>1 用地取得事業 国、地方公共団体の委託等を受けて道路、公園、その他公共施設等に要する土地を取得、造成、管理等する事業 (1) 公有地取得事業(道路、公園等の用地買収) (2) 土地造成事業(工業団地等の造成) (3) あっせん等事業(4) 関連施設整備事業(5) 附帯等事業</p> <p>2 用地売却事業 用地取得事業により取得、造成等した土地を、国、地方公共団体等に売却する事業 (1) 公有地売却事業(2) 土地造成売却事業</p>																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>3,669,381</td> <td>資産</td> <td>8,772,523</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>3,628,098</td> <td>流動資産</td> <td>8,509,372</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>41,283</td> <td>固定資産</td> <td>263,151</td> </tr> <tr> <td>販売管理費及び一般管理費</td> <td>25,775</td> <td>負債</td> <td>7,259,156</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>15,508</td> <td>流動負債</td> <td>5,416,932</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>5,367</td> <td>固定負債</td> <td>1,842,224</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>0</td> <td>純資産</td> <td>1,513,367</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>20,875</td> <td>資本金</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>26,067</td> <td>利益剰余金</td> <td>1,483,367</td> </tr> <tr> <td><b>当期純利益</b></td> <td><b>▲5,191</b></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※公社が造成を行った流通業務団地で岩塊が発見されたため、対策費26,067千円の特別損失を計上。特別損失を除く経常収支では20,875千円の当期利益を計上している。</p>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	3,669,381	資産	8,772,523	売上原価	3,628,098	流動資産	8,509,372	売上総利益	41,283	固定資産	263,151	販売管理費及び一般管理費	25,775	負債	7,259,156	営業利益	15,508	流動負債	5,416,932	営業外収益	5,367	固定負債	1,842,224	営業外費用	0	純資産	1,513,367	経常利益	20,875	資本金	30,000	特別利益	0	資本剰余金	0	特別損失	26,067	利益剰余金	1,483,367	<b>当期純利益</b>	<b>▲5,191</b>		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																		
売上高	3,669,381	資産	8,772,523																																																	
売上原価	3,628,098	流動資産	8,509,372																																																	
売上総利益	41,283	固定資産	263,151																																																	
販売管理費及び一般管理費	25,775	負債	7,259,156																																																	
営業利益	15,508	流動負債	5,416,932																																																	
営業外収益	5,367	固定負債	1,842,224																																																	
営業外費用	0	純資産	1,513,367																																																	
経常利益	20,875	資本金	30,000																																																	
特別利益	0	資本剰余金	0																																																	
特別損失	26,067	利益剰余金	1,483,367																																																	
<b>当期純利益</b>	<b>▲5,191</b>																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 毎年度増減する国、県、市町村の用地取得事業等に対し、その専門性とノウハウを活用し各事業主体を効率的にサポートするためにも、事業を定量的に受託することが課題である。</p> <p>2 大分北部中核工業団地(全28区画)の残る5区画と、平成30年度に造成工事が完了した玖珠工業団地(全2区画)の残る1区画について、早期売却を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 平成29年度から、県と公社で向こう5カ年の中期事業計画を策定し毎年度見直しを行っている。この中期事業計画を基に計画的かつ効率的な業務執行体制を整備し、事業を実施していく。</p> <p>2 公社保有の工業用地については、県の事業所管課と連携して売却促進に努める。</p>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体23

(課・室名) 港湾課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	株式会社大分国際貿易センター 代表取締役社長 藤澤 崇資																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	180,000千円 27.3% 659,000千円																																														
3	事業内容	1 大分国際貿易センタービル、冷凍冷蔵倉庫、食品流通加工センターなど不動産の賃貸業 2 大分港大在コンテナターミナルの管理運営（指定管理を受託） 3 関係機関と連携したポートセールス																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>128,671</td> <td>資産</td> <td>880,327</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>91,899</td> <td>流動資産</td> <td>533,115</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>36,772</td> <td>固定資産</td> <td>347,212</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>18,383</td> <td>負債</td> <td>62,627</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>18,389</td> <td>流動負債</td> <td>29,804</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>13,912</td> <td>固定負債</td> <td>32,823</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>32,301</td> <td>純資産</td> <td>817,700</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>32,301</td> <td>資本金</td> <td>659,000</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>10,051</td> <td>利益剰余金</td> <td>158,700</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>22,250</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	128,671	資産	880,327	売上原価	91,899	流動資産	533,115	売上総利益	36,772	固定資産	347,212	販売費及び一般管理費	18,383	負債	62,627	営業利益	18,389	流動負債	29,804	営業外収益	13,912	固定負債	32,823	経常利益	32,301	純資産	817,700	税引前当期純利益	32,301	資本金	659,000	法人税、住民税及び事業税	10,051	利益剰余金	158,700	当期純利益	22,250		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
売上高	128,671	資産	880,327																																													
売上原価	91,899	流動資産	533,115																																													
売上総利益	36,772	固定資産	347,212																																													
販売費及び一般管理費	18,383	負債	62,627																																													
営業利益	18,389	流動負債	29,804																																													
営業外収益	13,912	固定負債	32,823																																													
経常利益	32,301	純資産	817,700																																													
税引前当期純利益	32,301	資本金	659,000																																													
法人税、住民税及び事業税	10,051	利益剰余金	158,700																																													
当期純利益	22,250																																															
5	問題点及び懸案事項	1 冷凍冷蔵倉庫等賃貸施設が整備後23年を経過するなど所有建物の老朽化が進んでいる。コスト削減など経営改善により、平成13年度から19期連続して黒字となっているものの、経営の安定化を図る観点から、計画的な維持管理・更新を行う必要がある。 2 関係機関と連携したポートセールスにより、更なる大在コンテナターミナルの利用促進を図る必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 中長期的なトータルコストの縮減・平準化のため、老朽化が進んだ施設の維持管理計画による、計画的な施設改修・更新を今後も継続し、安定的な経営を行う。 2 今後とも、県等が実施するコンテナクレーンなどの港湾施設使用料の減免や、条件不利地域等に対する助成制度などを活用し、県や大分市、関係団体と連携したポートセールスに努める。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体24

(課・室名) 建築住宅課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 諏訪 義治																																																		
2	県出資金	10,000千円																																																		
	出資比率	100%																																																		
	資本金等の総額	10,000千円																																																		
3	事業内容	<p>主な事業</p> <p>1 受託事業 公営住宅管理受託（大分県、大分市、佐伯市、竹田市、豊後高田市、豊後大野市、臼杵市、杵築市、別府市、中津市、由布市）</p> <p>2 賃貸管理事業 公社所有賃貸住宅・施設の管理</p> <p>3 分譲事業 分譲宅地の販売（国東市向陽台）</p>																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,206,321</td> <td>資産</td> <td>3,111,268</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,039,597</td> <td>流動資産</td> <td>745,337</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>166,724</td> <td>固定資産</td> <td>2,365,931</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>58,085</td> <td>負債</td> <td>969,274</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>108,639</td> <td>流動負債</td> <td>330,238</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>600</td> <td>固定負債</td> <td>639,036</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>21,592</td> <td>純資産</td> <td>2,141,994</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>87,646</td> <td>資本金</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>86</td> <td>資本剰余金</td> <td>1,350,896</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>0</td> <td>利益剰余金</td> <td>781,098</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>87,733</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	1,206,321	資産	3,111,268	売上原価	1,039,597	流動資産	745,337	売上総利益	166,724	固定資産	2,365,931	販売費及び一般管理費	58,085	負債	969,274	営業利益	108,639	流動負債	330,238	営業外収益	600	固定負債	639,036	営業外費用	21,592	純資産	2,141,994	経常利益	87,646	資本金	10,000	特別利益	86	資本剰余金	1,350,896	特別損失	0	利益剰余金	781,098	当期純利益	87,733		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	1,206,321	資産	3,111,268																																																	
売上原価	1,039,597	流動資産	745,337																																																	
売上総利益	166,724	固定資産	2,365,931																																																	
販売費及び一般管理費	58,085	負債	969,274																																																	
営業利益	108,639	流動負債	330,238																																																	
営業外収益	600	固定負債	639,036																																																	
営業外費用	21,592	純資産	2,141,994																																																	
経常利益	87,646	資本金	10,000																																																	
特別利益	86	資本剰余金	1,350,896																																																	
特別損失	0	利益剰余金	781,098																																																	
当期純利益	87,733																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 公営住宅管理受託者として、サービスの向上、家賃収納率の向上、個人情報の保護など適切な管理をしていくとともに、経費の縮減等経営努力を行う必要がある。</p> <p>2 保有している分譲用資産（国東市向陽台）の早期売却を課題とし、販売促進を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 県営・市営住宅の一体的な管理により、住居相談のワンストップ化など入居サービス水準の向上を図るため、今後も受託事業における公営住宅の管理代行を拡充するとともに、窓口の一元化を進める。また、経営の安定のため、より一層の業務執行の効率化や職員の資質向上に取組み、適正な管理体制の整備に努める。</p> <p>2 分譲宅地は、残りわずか（全260区画中247区画販売済）であるが、商業施設用地・集合住宅用地（各1区画）は、販売の目途が立っていないことから、有効活用策について検討を進める。</p>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体25

(課・室名) 体育保健課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県スポーツ協会 会長 麻生 益直																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 14.3% 13,958千円																																														
3	事業内容	1 国民体育大会・九州ブロック大会等の各種スポーツ大会における競技力の向上に対する助成並びに指導者の資質向上等を図る事業 2 児童・青少年の健全な育成を図るスポーツ少年団の各種大会の開催に対する助成並びにスポーツに関する講習会・研修会等の開催に対する助成事業 3 本会に加盟している競技団体、学校体育団体、地域スポーツ団体の組織拡充等に関する事業 4 スポーツの健全な普及・振興等に功績のあった個人・団体に対する表彰事業 5 スポーツ水準の向上を図るためのスポーツ医科学の調査・研究等に関する事業 6 ホームページの運営、広報誌発行等による県民への情報提供並びに関係機関との連携によるスポーツ振興に関する事業																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>269,490</td> <td>資産</td> <td>41,678</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>268,668</td> <td>流動資産</td> <td>23,182</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>822</td> <td>固定資産</td> <td>18,496</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>4,465</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>4,465</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>822</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>37,213</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲632</td> <td>一般正味財産</td> <td>34,629</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>37,213</td> <td>指定正味財産</td> <td>2,584</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>190</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	269,490	資産	41,678	経常費用	268,668	流動資産	23,182	当期経常増減額	822	固定資産	18,496	経常外収益	0	負債	4,465	経常外費用	0	流動負債	4,465	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	822	正味財産(純資産)	37,213	当期指定正味財産増減額	▲632	一般正味財産	34,629	正味財産期末残高	37,213	指定正味財産	2,584	当期正味財産増減額	190		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	269,490	資産	41,678																																													
経常費用	268,668	流動資産	23,182																																													
当期経常増減額	822	固定資産	18,496																																													
経常外収益	0	負債	4,465																																													
経常外費用	0	流動負債	4,465																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																													
当期一般正味財産増減額	822	正味財産(純資産)	37,213																																													
当期指定正味財産増減額	▲632	一般正味財産	34,629																																													
正味財産期末残高	37,213	指定正味財産	2,584																																													
当期正味財産増減額	190																																															
5	問題点及び懸案事項	県からの負担金が経常収益の8割を超えていることを踏まえ、安定的な自主財源の確保による財政基盤の確立が必要となっている。																																														
6	対策及び処理状況	1 財政基盤の確立に向け、平成29年度から加盟団体分担金を改定し、自主財源の増額を図った。 2 ホームページによる広報等を通じて、企業・個人に対する賛助会員の拡大に努める。 3 スポーツ振興、県民体力の向上を推進する役割が十分果たせるよう、組織的に取り組む体制の整備に向け、県として指導・協力を行っていく。																																														



# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体26

(課・室名) 警察本部 組織犯罪対策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人暴力追放大分県民会議 理事長 姫野 清高																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	465,000千円 76.3% 609,500千円																																														
3	事業内容	1 暴力根絶のための啓発及び広報 2 暴力団員による不当な行為に関する相談 3 少年に対する暴力団の影響を排除するための活動 4 暴力団から離脱する意思を有する者を助けるための活動 5 事業所責任者講習の実施 6 住民からの委託による暴力団事務所使用差止請求（いわゆる代理訴訟）等																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>24,953</td> <td>資産</td> <td>632,409</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>24,474</td> <td>流動資産</td> <td>9,868</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>479</td> <td>固定資産</td> <td>622,541</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>5,861</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>823</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>5,038</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>479</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>626,548</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>621,545</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>626,548</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,003</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>479</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	24,953	資産	632,409	経常費用	24,474	流動資産	9,868	当期経常増減額	479	固定資産	622,541	経常外収益	0	負債	5,861	経常外費用	0	流動負債	823	当期経常外増減額	0	固定負債	5,038	当期一般正味財産増減額	479	正味財産(純資産)	626,548	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	621,545	正味財産期末残高	626,548	指定正味財産	5,003	当期正味財産増減額	479		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	24,953	資産	632,409																																													
経常費用	24,474	流動資産	9,868																																													
当期経常増減額	479	固定資産	622,541																																													
経常外収益	0	負債	5,861																																													
経常外費用	0	流動負債	823																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	5,038																																													
当期一般正味財産増減額	479	正味財産(純資産)	626,548																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	621,545																																													
正味財産期末残高	626,548	指定正味財産	5,003																																													
当期正味財産増減額	479																																															
5	問題点及び懸案事項	賛助会員の獲得が困難化の傾向にあることから、企業訪問（令和元年度:1,326社実施）や不当要求防止責任者講習（同:25回866人受講）を通じて、県民の理解を得ながら賛助金の獲得に努める必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	賛助会員の新規開拓等を推進し、資金基盤の整備及び安定運用を図る。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体27

(課・室名) 警察本部 交通企画課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県交通安全協会 会長 杉原正晴			
2	県出資金	0千円			
	出資比率	0.0%			
	資本金等の総額	45,155千円			
3	事業内容	1 適正な交通の方法、交通事故の防止及び交通安全思想の普及のための広報啓発、交通安全教育に関する事業 2 交通事故の防止及び交通秩序維持のための優良運転者の育成、運転者教育に関する事業 3 道路における交通の安全と円滑を推進するための企画、調査、研究に関する事業 4 その他、目的を達成するために必要な事業			
4	元年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 866,304 経常費用 834,802 当期経常増減額 31,502 経常外収益 990 経常外費用 0 当期経常外増減額 990 当期一般正味財産増減額 32,492 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 1,385,874 当期正味財産増減額 32,492	○貸借対照表(千円) 資産 1,575,048 流動資産 670,582 固定資産 904,466 負債 189,174 流動負債 75,983 固定負債 113,191 正味財産(純資産) 1,385,874 指定正味財産 0 一般正味財産 1,385,874		
5	問題点及び懸案事項	<p>事業面は、令和元年中の県下の交通事故死者数は41名で、前年に比べて2名の増加となったが、発生件数及び負傷者数ともに減少するなど、一定の効果を実現できている。</p> <p>財政面は、平成26年から平成28年にかけて実施した財政再建計画により経常黒字となったが、平成29・30年度は、講習収益や会費収入が減少し赤字となった。</p> <p>令和元年(平成31年)度は、免許更新者数の増加に伴い、講習収益や会費収入が増加し、経常黒字となったが、今後は、免許更新者数や証紙売捌手数料収益の減少に伴い、経常赤字となることも懸念される。</p>			
6	対策及び処理状況	今後、更新者の減少が予想されることから、委託業務の契約内容等を見直し等を行い、業務の効率化を図り、会費収入の増加等に努める必要がある。			

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他01

(課・室名) 芸術文化スポーツ振興課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	株式会社大分フットボールクラブ 代表取締役社長 榎 徹																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	10,000千円 12.4% 80,519千円																																																		
3	事業内容	1 サッカーチーム（大分トリニータ）の経営 2 サッカー等のスポーツ選手の養成、指導並びに管理業務 3 スポーツ教室の開催、普及 4 各種イベントの企画運営等																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <thead> <tr> <th colspan="2">○損益計算書 (千円)</th> <th colspan="2">○貸借対照表 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>1,866,188</td> <td>資産</td> <td>608,226</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,404,559</td> <td>流動資産</td> <td>469,087</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>461,629</td> <td>固定資産</td> <td>139,139</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>273,519</td> <td>負債</td> <td>381,757</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>188,109</td> <td>流動負債</td> <td>381,757</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>2,627</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>59</td> <td>純資産</td> <td>226,469</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>190,677</td> <td>資本金</td> <td>40,267</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>190,677</td> <td>資本剰余金</td> <td>40,252</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>58,407</td> <td>利益剰余金</td> <td>145,950</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>132,270</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		売上高	1,866,188	資産	608,226	売上原価	1,404,559	流動資産	469,087	売上総利益	461,629	固定資産	139,139	販売費及び一般管理費	273,519	負債	381,757	営業利益	188,109	流動負債	381,757	営業外収益	2,627	固定負債	0	営業外費用	59	純資産	226,469	経常利益	190,677	資本金	40,267	税引前当期純利益	190,677	資本剰余金	40,252	法人税、住民税及び事業税	58,407	利益剰余金	145,950	当期純利益	132,270		
○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																		
売上高	1,866,188	資産	608,226																																																	
売上原価	1,404,559	流動資産	469,087																																																	
売上総利益	461,629	固定資産	139,139																																																	
販売費及び一般管理費	273,519	負債	381,757																																																	
営業利益	188,109	流動負債	381,757																																																	
営業外収益	2,627	固定負債	0																																																	
営業外費用	59	純資産	226,469																																																	
経常利益	190,677	資本金	40,267																																																	
税引前当期純利益	190,677	資本剰余金	40,252																																																	
法人税、住民税及び事業税	58,407	利益剰余金	145,950																																																	
当期純利益	132,270																																																			
5	問題点及び懸案事項	1 チケット収入やスポンサー収入等の収益の確保と、あらゆる経費の削減に引き続き努めるとともに、持続可能な経営体となるための経営体質の強化が求められている。 2 新型コロナウイルスの影響で、公式戦が2月から約4ヶ月間中断となり、再開後も入場制限やイベントの制限が行われることから、事業の柱である試合運営によるチケット収入の確保に大きな影響が生じており経営環境が非常に厳しくなっている。																																																		
6	対策及び処理状況	1 平成21年度の経営危機以降、経営体制の刷新、新たなスポンサーの獲得などによる収入の確保、人件費をはじめとするあらゆる経費の削減による徹底した合理化などに努めており、令和元年度はJ1で好成績を残したこともあり132百万円の当期純利益を計上し、10年連続黒字となった。 2 新型コロナウイルスの影響で、経営環境が一変し非常に厳しい状況であるが、緊急事態宣言解除を受け、段階的に観客を入れて試合を再開した。このような中、クラウドファンディングによる段ボールサポーターの募集や、動画の配信、選手によるスポンサー企業訪問など新たな取り組みに挑戦している。																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他02

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	株式会社別府交通センター 代表取締役社長 杉原正晴		
2	県出資金	39,000千円		
	出資比率	21.7%		
	資本金等の総額	180,000千円		
3	事業内容	1 別府国際観光港前バスターミナルの運営、管理業務 2 土産品等の販売 3 食堂の経営及び飲食物類の販売		
4	元年度決算状況	○損益計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	
		売上高	資産	232,075
		売上原価	流動資産	161,656
		売上総利益	固定資産	70,419
		販売費及び一般管理費	負債	50,343
		営業利益	流動負債	34,331
		営業外収益	固定負債	16,012
		営業外費用	純資産	181,732
		経常利益	資本金	180,000
		特別損益	資本剰余金	0
		税引前当期純利益	利益剰余金	1,732
		法人税、住民税及び事業税		
		当期純利益		
5	問題点及び懸案事項	新型コロナウイルスの影響による来客者数の減少		
6	対策及び処理状況	平成10年度から22年連続当期純利益を計上し、長年の懸案であった累積損失を今期決算において解消することができたが、2月以降新型コロナウイルスの影響により来客者数が減少し、売上額が落ち込んでいる。 今後の観光需要の状況を見極めながら、誘客促進や販売商品の充実など営業の強化に取り組み、売上額回復を図る。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他03

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県自動車会議所 理事長 漢 二 美		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500千円 20.4% 2,450千円		
3	事業内容	1 交通会館の経営及び維持 2 交通安全事業の促進及び協力 3 自動車に関する調査研究及び普及宣伝 4 自動車に関する事業者間の連絡協調 5 自動車に関する意見の公表及び関係諸官庁への諸願建議		
4	元年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 29,123 経常費用 26,841 当期経常増減額 2,282 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 2,282 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 110,850 当期正味財産増減額 2,282	○貸借対照表(千円) 資産 123,151 流動資産 4,564 固定資産 118,587 負債 12,301 流動負債 989 固定負債 11,312 正味財産(純資産) 110,850 一般正味財産 57,875 指定正味財産 52,975	
		長期借入金 8,012(平成24年4月から10年間で返済予定)		
5	問題点及び懸案事項	平成24年度に大分県交通会館の外壁、エレベーターと空調設備などの大規模改修を実施し、会館の維持及び適正な運営を行っているが、今後、施設の老朽化のため、個々の修繕等発生する可能性がある。		
6	対策及び処理状況	会館の維持、適正な運営を継続する。		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他04

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等																																		
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県アイバンク協会 理事長 久保田敏昭																																				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 7.0% 71,000千円																																				
3	事業内容	1 献眼する者の募集及び登録に関する事業を行うこと。 2 提供される眼球の摘出、輸送、検査、保存及びあっせんに関する事業を行うこと。 3 献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発に関する事業を行うこと。 4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。																																				
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>4,266</td> <td>資産</td> <td>75,239</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>4,238</td> <td>流動資産</td> <td>3,946</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>28</td> <td>固定資産</td> <td>71,293</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>28</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>75,228</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">           主な収入            寄附金 1,639千円            眼球斡旋手数料(4眼) 720千円            賛助会費 934千円            主な支出            職員人件費 1,299千円         </div> </td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	4,266	資産	75,239	経常費用	4,238	流動資産	3,946	当期経常増減額	28	固定資産	71,293	経常外収益	0	負債	11	経常外費用	0	流動負債	11	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期正味財産増減額	28	正味財産(純資産)	75,228	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">           主な収入            寄附金 1,639千円            眼球斡旋手数料(4眼) 720千円            賛助会費 934千円            主な支出            職員人件費 1,299千円         </div>	
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																				
経常収益	4,266	資産	75,239																																			
経常費用	4,238	流動資産	3,946																																			
当期経常増減額	28	固定資産	71,293																																			
経常外収益	0	負債	11																																			
経常外費用	0	流動負債	11																																			
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																			
当期正味財産増減額	28	正味財産(純資産)	75,228																																			
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">           主な収入            寄附金 1,639千円            眼球斡旋手数料(4眼) 720千円            賛助会費 934千円            主な支出            職員人件費 1,299千円         </div>																																						
5	問題点及び懸案事項	1 献眼者数を確保するため、普及啓発の強化が課題である。 2 主な自主財源は寄附金や賛助会費であり、昨今の低金利により基本財産の運用益は目減りし、収入構造が厳しい状況にある。 3 寄附金の増収対策等による経営体質の強化が課題である。																																				
6	対策及び処理状況	寄附金収入の増加を図るため、平成25年度から支援型自動販売機及び募金箱の設置を進めており、自主財源の確保に努めている。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等に合計9台を設置。 (H30:9台、436千円 → R元:9台、429千円) ※募金箱は59個設置。(H30:469千円 → R元:468千円)																																				

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他05

(課・室名) 循環社会推進課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県環境管理協会 理事長 森口孝行																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,000千円 2.5% 40,000千円																																														
3	事業内容	1 浄化槽法に基づく法定検査及び放流水の水質検査 2 環境衛生関係の各種講習会や調査研究																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>440,104</td> <td>資産</td> <td>575,639</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>418,359</td> <td>流動資産</td> <td>182,141</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>21,745</td> <td>固定資産</td> <td>393,498</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>210,913</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>103,925</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>106,988</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>21,745</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>364,726</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>344,726</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>364,726</td> <td>指定正味財産</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>21,745</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	440,104	資産	575,639	経常費用	418,359	流動資産	182,141	当期経常増減額	21,745	固定資産	393,498	経常外収益	0	負債	210,913	経常外費用	0	流動負債	103,925	当期経常外増減額	0	固定負債	106,988	当期一般正味財産増減額	21,745	正味財産(純資産)	364,726	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	344,726	正味財産期末残高	364,726	指定正味財産	20,000	当期正味財産増減額	21,745		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																														
経常収益	440,104	資産	575,639																																													
経常費用	418,359	流動資産	182,141																																													
当期経常増減額	21,745	固定資産	393,498																																													
経常外収益	0	負債	210,913																																													
経常外費用	0	流動負債	103,925																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	106,988																																													
当期一般正味財産増減額	21,745	正味財産(純資産)	364,726																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	344,726																																													
正味財産期末残高	364,726	指定正味財産	20,000																																													
当期正味財産増減額	21,745																																															
5	問題点及び懸案事項	浄化槽法に基づく法定検査(11条検査)受検率の向上  ※11条検査：年1回の定期検査																																														
6	対策及び処理状況	11条検査の受検率は平成30年度の42.9%から、令和元年度は43.6%となり、やや改善している。引き続き受検率の向上に繋がる取組の強化を図る。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他06

(課・室名) 経営創造・金融課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	大分県信用保証協会 会長 日 高 雅 近			
2	県 出 資 金 出 資 比 率 資 本 金 等 の 総 額	3, 3 6 7, 2 1 7 千円 2 1. 3 % 1 5, 8 4 4, 4 6 0 千円			
3	事 業 内 容	<p>中小企業者が金融機関から借入等する場合の借入金等に対してその債務保証をすること</p> <p>(令和元年度保証承諾実績)</p> <p style="text-align: right;">6, 122件 58, 933, 848千円</p> <p>(令和元年度末保証債務残高)</p> <p style="text-align: right;">16, 663件 127, 850, 059千円</p>			
4	元 年 度 決 算 状 況	<p>○正味財産増減計算書 (千円)</p> <p>経常収益 1, 845, 867</p> <p>経常費用 1, 481, 263</p> <p>当期経常増減額 364, 605</p> <p>経常外収益 2, 091, 750</p> <p>経常外費用 2, 302, 875</p> <p>当期経常外増減額 ▲211, 125</p> <p>正味財産期首残額 21, 503, 979</p> <p>正味財産期末残額 21, 657, 460</p> <p>当期正味財産増減額 153, 480</p>	<p>○貸借対照表 (千円)</p> <p>資産 153, 394, 435</p> <p>流動資産 23, 738, 078</p> <p>固定資産 1, 806, 298</p> <p>保証債務見返 127, 850, 059</p> <p>負債 131, 736, 976</p> <p>流動負債 2, 318, 501</p> <p>固定負債 1, 568, 415</p> <p>保証債務 127, 850, 059</p> <p>正味財産 21, 657, 460</p>		
5	問題点及び懸案事項	引き続き健全な経営の継続と安定した経営基盤の確立を目指すとともに、中小企業者が必要とする資金の信用保証業務を適切に行い、中小企業金融の円滑化と中小企業の経営改善に寄与する必要がある。			
6	対策及び処理状況	平成30年3月に策定した第5次中期事業計画並びに各年次経営計画に掲げる業務運営方針及び基本目標を着実に実行することにより、健全経営の継続と中小企業金融の円滑化等への寄与に努めていく。			



# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他07

(課・室名) 情報政策課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社大分放送 代表取締役社長 永田悠三郎																																																						
2	県出資金	32,000千円																																																						
	出資比率	12.3%																																																						
	資本金等の総額	260,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくラジオ放送 2 放送法に基づくテレビ放送 3 その他放送に関連する事業																																																						
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>5,026,697</td> <td>資産</td> <td>7,348,342</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,980,921</td> <td>流動資産</td> <td>2,728,870</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>3,045,776</td> <td>固定資産</td> <td>4,619,472</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>2,402,997</td> <td>負債</td> <td>3,918,904</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>338,990</td> <td>流動負債</td> <td>2,032,280</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>91,011</td> <td>固定負債</td> <td>1,886,624</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>17,635</td> <td>純資産</td> <td>3,429,438</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>412,366</td> <td>資本金</td> <td>260,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>248,911</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>56,798</td> <td>利益剰余金</td> <td>3,056,388</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>▲34,549</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>113,050</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>157,565</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	5,026,697	資産	7,348,342	売上原価	1,980,921	流動資産	2,728,870	売上総利益	3,045,776	固定資産	4,619,472	販売費及び一般管理費	2,402,997	負債	3,918,904	営業利益	338,990	流動負債	2,032,280	営業外収益	91,011	固定負債	1,886,624	営業外費用	17,635	純資産	3,429,438	経常利益	412,366	資本金	260,000	税引前当期純利益	248,911	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	56,798	利益剰余金	3,056,388	法人税等調整額	▲34,549	評価・換算差額等	113,050	当期純利益	157,565		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																						
売上高	5,026,697	資産	7,348,342																																																					
売上原価	1,980,921	流動資産	2,728,870																																																					
売上総利益	3,045,776	固定資産	4,619,472																																																					
販売費及び一般管理費	2,402,997	負債	3,918,904																																																					
営業利益	338,990	流動負債	2,032,280																																																					
営業外収益	91,011	固定負債	1,886,624																																																					
営業外費用	17,635	純資産	3,429,438																																																					
経常利益	412,366	資本金	260,000																																																					
税引前当期純利益	248,911	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	56,798	利益剰余金	3,056,388																																																					
法人税等調整額	▲34,549	評価・換算差額等	113,050																																																					
当期純利益	157,565																																																							
5	問題点及び懸案事項	平成24年度以降、黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も、地域に密着した番組制作の充実強化に取り組むとともに、積極な営業活動に努める。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他08

(課・室名) 情報政策課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分朝日放送株式会社 代表取締役社長 上野輝幸																																																						
2	県出資金	150,000千円																																																						
	出資比率	5.0%																																																						
	資本金等の総額	3,000,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくテレビ放送事業 2 催し物・イベント等の事業																																																						
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>4,423,008</td> <td>資産</td> <td>7,920,120</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>2,129,799</td> <td>流動資産</td> <td>4,430,993</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>2,293,209</td> <td>固定資産</td> <td>3,489,127</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>2,026,794</td> <td>負債</td> <td>970,873</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>266,413</td> <td>流動負債</td> <td>593,381</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>28,660</td> <td>固定負債</td> <td>377,492</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>7,245</td> <td>純資産</td> <td>6,949,247</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>287,799</td> <td>資本金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>257,669</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>92,724</td> <td>利益剰余金</td> <td>3,946,031</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>2,126</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>3,216</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>162,817</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	4,423,008	資産	7,920,120	売上原価	2,129,799	流動資産	4,430,993	売上総利益	2,293,209	固定資産	3,489,127	販売費及び一般管理費	2,026,794	負債	970,873	営業利益	266,413	流動負債	593,381	営業外収益	28,660	固定負債	377,492	営業外費用	7,245	純資産	6,949,247	経常利益	287,799	資本金	3,000,000	税引前当期純利益	257,669	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	92,724	利益剰余金	3,946,031	法人税等調整額	2,126	評価・換算差額等	3,216	当期純利益	162,817		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	4,423,008	資産	7,920,120																																																					
売上原価	2,129,799	流動資産	4,430,993																																																					
売上総利益	2,293,209	固定資産	3,489,127																																																					
販売費及び一般管理費	2,026,794	負債	970,873																																																					
営業利益	266,413	流動負債	593,381																																																					
営業外収益	28,660	固定負債	377,492																																																					
営業外費用	7,245	純資産	6,949,247																																																					
経常利益	287,799	資本金	3,000,000																																																					
税引前当期純利益	257,669	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	92,724	利益剰余金	3,946,031																																																					
法人税等調整額	2,126	評価・換算差額等	3,216																																																					
当期純利益	162,817																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も積極的な営業活動、業務効率化を行うとともに、地域への情報発信に取り組む。																																																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他09

(課・室名) 情報政策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	株式会社エフエム大分 代表取締役社長 田 中 竜																																																		
2	県 出 資 金	4, 0 0 0 千円																																																		
	出 資 比 率	5. 0 %																																																		
	資 本 金 等 の 総 額	8 0, 0 0 0 千円																																																		
3	事 業 内 容	1 放送法に基づく超短波放送事業及びその他放送関連事業 2 音楽会、演奏会等各種行事の企画及び開催に関する文化事業																																																		
4	元 年 度 決 算 状 況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>317, 820</td> <td>資産</td> <td>266, 478</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>157, 589</td> <td>流動資産</td> <td>130, 765</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>160, 232</td> <td>固定資産</td> <td>135, 717</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>185, 179</td> <td>負債</td> <td>74, 924</td> </tr> <tr> <td>営業損失</td> <td>24, 947</td> <td>流動負債</td> <td>34, 632</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>968</td> <td>固定負債</td> <td>40, 292</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>455</td> <td>純資産</td> <td>191, 554</td> </tr> <tr> <td>経常損失</td> <td>24, 434</td> <td>資本金</td> <td>80, 000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純損失</td> <td>29, 098</td> <td>資本剰余金</td> <td>163, 914</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>587</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲52, 851</td> </tr> <tr> <td>当期純損失</td> <td>29, 684</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>491</td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	317, 820	資産	266, 478	売上原価	157, 589	流動資産	130, 765	売上総利益	160, 232	固定資産	135, 717	販売費及び一般管理費	185, 179	負債	74, 924	営業損失	24, 947	流動負債	34, 632	営業外収益	968	固定負債	40, 292	営業外費用	455	純資産	191, 554	経常損失	24, 434	資本金	80, 000	税引前当期純損失	29, 098	資本剰余金	163, 914	法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	▲52, 851	当期純損失	29, 684	評価・換算差額等	491
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	317, 820	資産	266, 478																																																	
売上原価	157, 589	流動資産	130, 765																																																	
売上総利益	160, 232	固定資産	135, 717																																																	
販売費及び一般管理費	185, 179	負債	74, 924																																																	
営業損失	24, 947	流動負債	34, 632																																																	
営業外収益	968	固定負債	40, 292																																																	
営業外費用	455	純資産	191, 554																																																	
経常損失	24, 434	資本金	80, 000																																																	
税引前当期純損失	29, 098	資本剰余金	163, 914																																																	
法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	▲52, 851																																																	
当期純損失	29, 684	評価・換算差額等	491																																																	
5	問題点及び懸案事項	平成29年から本社移転、親局の移転、中継局等の設備更新など設備投資が続いており、営業利益、経常利益ともにマイナスとなっているものの、売り上げについては、前年度と同程度を維持しており、今後順次設備更新にかかる償却が順次終了していくため、数年後には黒字になる予定。																																																		
6	対策及び処理状況	目標の売上を確保するとともに、人件費や一般管理費、自社制作比率の向上による番組費の抑制などに取り組んでいるほか、30周年事業を実施することで、新規リスナーの確保や、新たなスポンサーの開拓などの取り組みを行っている。 県としては、経営改善に向け定期的なモニタリングを継続する。																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他10

(課・室名) 情報政策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県デジタルネットワークセンター株式会社 代表取締役社長 上 村 忠																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 3.6% 56,000千円																																																		
3	事業内容	1 デジタル放送設備の共同利用 2 地上波放送の受信点の共同利用 3 自主制作番組の相互利用																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>49,047</td> <td>資産</td> <td>79,384</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>40,537</td> <td>流動資産</td> <td>79,384</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>8,510</td> <td>固定資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>7,723</td> <td>負債</td> <td>7,202</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>787</td> <td>流動負債</td> <td>7,202</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>5,600</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>5,600</td> <td>純資産</td> <td>72,632</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>787</td> <td>資本金</td> <td>56,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>787</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>357</td> <td>利益剰余金</td> <td>16,633</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>429</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	49,047	資産	79,384	売上原価	40,537	流動資産	79,384	売上総利益	8,510	固定資産	0	販売費及び一般管理費	7,723	負債	7,202	営業利益	787	流動負債	7,202	営業外収益	5,600	固定負債	0	営業外費用	5,600	純資産	72,632	経常利益	787	資本金	56,000	税引前当期純利益	787	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	357	利益剰余金	16,633	当期純利益	429		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																		
売上高	49,047	資産	79,384																																																	
売上原価	40,537	流動資産	79,384																																																	
売上総利益	8,510	固定資産	0																																																	
販売費及び一般管理費	7,723	負債	7,202																																																	
営業利益	787	流動負債	7,202																																																	
営業外収益	5,600	固定負債	0																																																	
営業外費用	5,600	純資産	72,632																																																	
経常利益	787	資本金	56,000																																																	
税引前当期純利益	787	資本剰余金	0																																																	
法人税、住民税及び事業税	357	利益剰余金	16,633																																																	
当期純利益	429																																																			
5	問題点及び懸案事項	令和元年度は黒字決算となっている。 条件不利地域における情報格差の是正および、地域情報化の推進に資するため、今後も安定した経営が必要である。																																																		
6	対策及び処理状況	今後も安定した事業運営に努める。																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他11

(課・室名) 団体指導・金融課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県農業信用基金協会 会長理事 小川 一 男																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,030,430千円 24.0% 4,287,000千円																																																		
3	事業内容	1 農業者等に対する債務保証業務 2 求償権回収業務																																																		
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○収支計算書 (千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>324,874</td> <td>資産</td> <td>90,782,641</td> </tr> <tr> <td>  事業収入</td> <td>227,018</td> <td>  流動資産</td> <td>3,109,395</td> </tr> <tr> <td>  補助金等収入</td> <td>39,076</td> <td>  固定資産</td> <td>5,885,842</td> </tr> <tr> <td>  その他の収入</td> <td>58,780</td> <td>  債務保証見返</td> <td>81,787,404</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>238,769</td> <td>負債</td> <td>84,937,937</td> </tr> <tr> <td>  事業費</td> <td>4,919</td> <td>  流動負債</td> <td>892,228</td> </tr> <tr> <td>  管理費</td> <td>150,840</td> <td>  固定負債</td> <td>2,258,305</td> </tr> <tr> <td>  その他の支出</td> <td>83,010</td> <td>  保証債務</td> <td>81,787,404</td> </tr> <tr> <td>当期収支差額</td> <td>86,105</td> <td>正味財産 (純資産)</td> <td>5,844,704</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  うち基本 (資本) 金</td> <td>5,758,599</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  うち当期正味財産増減額</td> <td>86,105</td> </tr> </table>			○収支計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		収入	324,874	資産	90,782,641	事業収入	227,018	流動資産	3,109,395	補助金等収入	39,076	固定資産	5,885,842	その他の収入	58,780	債務保証見返	81,787,404	支出	238,769	負債	84,937,937	事業費	4,919	流動負債	892,228	管理費	150,840	固定負債	2,258,305	その他の支出	83,010	保証債務	81,787,404	当期収支差額	86,105	正味財産 (純資産)	5,844,704			うち基本 (資本) 金	5,758,599			うち当期正味財産増減額	86,105
○収支計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																		
収入	324,874	資産	90,782,641																																																	
事業収入	227,018	流動資産	3,109,395																																																	
補助金等収入	39,076	固定資産	5,885,842																																																	
その他の収入	58,780	債務保証見返	81,787,404																																																	
支出	238,769	負債	84,937,937																																																	
事業費	4,919	流動負債	892,228																																																	
管理費	150,840	固定負債	2,258,305																																																	
その他の支出	83,010	保証債務	81,787,404																																																	
当期収支差額	86,105	正味財産 (純資産)	5,844,704																																																	
		うち基本 (資本) 金	5,758,599																																																	
		うち当期正味財産増減額	86,105																																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>期中管理の徹底を図り、代位弁済の減少に努めることで安定した経営が見込まれる。</p> <p style="text-align: right;">(金額単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代弁件数</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>代弁金額</td> <td>72,216</td> <td>75,709</td> <td>28,924</td> <td>15,367</td> <td>54,913</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H27	H28	H29	H30	R1	代弁件数	23	15	7	8	18	代弁金額	72,216	75,709	28,924	15,367	54,913																														
年度	H27	H28	H29	H30	R1																																															
代弁件数	23	15	7	8	18																																															
代弁金額	72,216	75,709	28,924	15,367	54,913																																															
6	対策及び処理状況	<p>融資機関等に対する研修会を通じて、債務保証制度の周知を図るとともに、保証案件の事故を未然に防ぐため、融資機関・行政等と連携した期中管理の強化を行っている。</p>																																																		

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他12

(課・室名) 園芸振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県園芸振興基金協会 会長理事 佐 土 原 斉																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	25,000千円 24.9% 100,170千円																																														
3	事業内容	<p>野菜及び果実の安定的な生産出荷の推進、生産農家の経営安定の支援、青果物の需給拡大を図るため、以下の事業を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>野菜価格安定事業 価格が下落した場合の価格差補給交付金の交付を通じて農家の経営安定と再生産並びに青果物の安定供給を図る。</li> <li>果樹経営支援対策事業 優良品目・品種への転換、未収益期間の支援に加え、園地整備等労働生産性の向上を図り、果樹産地の生産体制強化を図る。</li> <li>消費拡大対策事業 県農業祭等で野菜・果実の消費拡大PR活動を実施。</li> </ol>																																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>163,833</td> <td>資産</td> <td>800,160</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>165,281</td> <td>流動資産</td> <td>99,451</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲1,449</td> <td>固定資産</td> <td>700,709</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>253,525</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>48,938</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>204,587</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲1,449</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>546,634</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>28,245</td> <td>一般正味財産</td> <td>248,549</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>546,634</td> <td>指定正味財産</td> <td>298,085</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>26,796</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	163,833	資産	800,160	経常費用	165,281	流動資産	99,451	当期経常増減額	▲1,449	固定資産	700,709	経常外収益	0	負債	253,525	経常外費用	0	流動負債	48,938	当期経常外増減額	0	固定負債	204,587	当期一般正味財産増減額	▲1,449	正味財産(純資産)	546,634	当期指定正味財産増減額	28,245	一般正味財産	248,549	正味財産期末残高	546,634	指定正味財産	298,085	当期正味財産増減額	26,796		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	163,833	資産	800,160																																													
経常費用	165,281	流動資産	99,451																																													
当期経常増減額	▲1,449	固定資産	700,709																																													
経常外収益	0	負債	253,525																																													
経常外費用	0	流動負債	48,938																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	204,587																																													
当期一般正味財産増減額	▲1,449	正味財産(純資産)	546,634																																													
当期指定正味財産増減額	28,245	一般正味財産	248,549																																													
正味財産期末残高	546,634	指定正味財産	298,085																																													
当期正味財産増減額	26,796																																															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>一般正味財産の減少は管理費の増加によるものである。元年度に職員退職による給付費用が発生したための単年度の支出増であり、次年度以降問題になるものではない。</li> <li>外国債の運用益により管理費を支出している。経営の安定化を図るために安全かつ効率的な運用に務めていく。</li> </ol>																																														
6	対策及び処理状況	引き続き効率的な事務事業を行うとともに、資産の運用についても適切に実施するよう求めていく。																																														

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他13

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																													
1	法人名及び代表者名	株式会社大分県畜産公社 代表取締役社長 二宮伊作																																															
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500,150千円 19.4% 2,574,540千円																																															
3	事業内容	<p>食肉流通の近代化、合理化を図ることで、畜産農家の所得向上と消費者への食肉の安定供給に寄与することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家畜のと畜解体処理</li> <li>2 食肉の製造及び販売</li> <li>3 県産畜産物アンテナショップの運営</li> <li>4 肥育牛の預託事業</li> <li>5 その他附帯する事業</li> </ol>																																															
4	元年度決算状況	<p>○損益計算書（千円）</p> <table> <tr><td>売上高</td><td>9,484,323</td></tr> <tr><td>売上原価</td><td>9,118,834</td></tr> <tr><td>売上総利益</td><td>365,489</td></tr> <tr><td>販売費及び一般管理費</td><td>537,712</td></tr> <tr><td>営業利益</td><td>▲172,223</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>28,642</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>1,815</td></tr> <tr><td>経常利益</td><td>▲145,397</td></tr> <tr><td>特別利益</td><td>2,782</td></tr> <tr><td>特別損失</td><td>75</td></tr> <tr><td>税引前当期純利益</td><td>▲142,690</td></tr> <tr><td>法人税・住民税及び事業税</td><td>▲12,633</td></tr> <tr><td>当期純利益</td><td>▲130,057</td></tr> </table>	売上高	9,484,323	売上原価	9,118,834	売上総利益	365,489	販売費及び一般管理費	537,712	営業利益	▲172,223	営業外収益	28,642	営業外費用	1,815	経常利益	▲145,397	特別利益	2,782	特別損失	75	税引前当期純利益	▲142,690	法人税・住民税及び事業税	▲12,633	当期純利益	▲130,057	<p>○貸借対照表（千円）</p> <table> <tr><td>資産</td><td>5,262,790</td></tr> <tr><td>流動資産</td><td>2,838,030</td></tr> <tr><td>固定資産</td><td>2,424,760</td></tr> <tr><td>負債</td><td>3,148,019</td></tr> <tr><td>流動負債</td><td>2,445,074</td></tr> <tr><td>固定負債</td><td>702,946</td></tr> <tr><td>純資産</td><td>2,114,770</td></tr> <tr><td>資本金</td><td>2,574,540</td></tr> <tr><td>資本剰余金</td><td>0</td></tr> <tr><td>利益剰余金</td><td>▲459,770</td></tr> </table>	資産	5,262,790	流動資産	2,838,030	固定資産	2,424,760	負債	3,148,019	流動負債	2,445,074	固定負債	702,946	純資産	2,114,770	資本金	2,574,540	資本剰余金	0	利益剰余金	▲459,770
売上高	9,484,323																																																
売上原価	9,118,834																																																
売上総利益	365,489																																																
販売費及び一般管理費	537,712																																																
営業利益	▲172,223																																																
営業外収益	28,642																																																
営業外費用	1,815																																																
経常利益	▲145,397																																																
特別利益	2,782																																																
特別損失	75																																																
税引前当期純利益	▲142,690																																																
法人税・住民税及び事業税	▲12,633																																																
当期純利益	▲130,057																																																
資産	5,262,790																																																
流動資産	2,838,030																																																
固定資産	2,424,760																																																
負債	3,148,019																																																
流動負債	2,445,074																																																
固定負債	702,946																																																
純資産	2,114,770																																																
資本金	2,574,540																																																
資本剰余金	0																																																
利益剰余金	▲459,770																																																
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県内唯一の食肉処理施設としての処理機能に加え、県産食肉の国内外における販路拡大に向けた「ブランド力を高める機能」と「流通拠点としての機能」が求められている。</li> <li>2 令和元年度については、インバウンドの減少や消費増税等による牛肉販売不振、新型コロナウイルス感染症拡大による牛枝肉価格の暴落等により、1億3千万円の赤字となった。新処理施設建設時(H28)に発生した赤字を加えた繰越利益剰余金は▲459,770千円となっており、今後アフターコロナを見据えた抜本的な経営改善が求められる。</li> </ol>																																															
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中長期経営改善計画を抜本的に見直し、と畜・加工部門の効率化による経費削減、集荷拡大、販売強化等を進める。</li> <li>2 と畜・加工の効率化についてはカット時の歩留率を上げ、商品化率を向上させるとともに、工場ラインスピードを上げることで超過勤務経費の縮減を図る。</li> <li>3 集荷拡大については畜産クラスター事業を活用した意欲ある生産者の規模拡大を支援し、集荷拡大を図る。</li> <li>4 販売強化は①大阪に職員を配置し、関西、中京圏の新規開拓、販売拡大を図る②輸出対策として台湾、香港、マカオ等重要拠点地域に加え、対米輸出を強化するとともに、対中国輸出を見据え輸出業者との商談を加速する③webサイトを活用したBtoCによる販売等、消費者への直接販売を取り入れ、多様化する需要に対応した販売を強化する。</li> </ol>																																															

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他14

(課・室名) 漁港漁村整備課

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	周防灘フェリー株式会社 代表取締役社長 池田 弘明																																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	501千円 1.0% 48,000千円																																																										
3	事業内容	竹田津・徳山航路のフェリーボートの運航																																																										
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書 (千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>409,770</td> <td>資産</td> <td>258,260</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>316,866</td> <td>流動資産</td> <td>157,017</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>92,903</td> <td>固定資産</td> <td>101,242</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>104,534</td> <td>負債</td> <td>239,923</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲11,630</td> <td>流動負債</td> <td>74,276</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>3,408</td> <td>固定負債</td> <td>165,646</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,029</td> <td>純資産</td> <td>18,336</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲9,252</td> <td>資本金</td> <td>48,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>405</td> <td>資本剰余金</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>0</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲36,793</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純損失</td> <td>▲8,847</td> <td>自己株式</td> <td>▲720</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>365</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>7,649</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲9,212</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		売上高	409,770	資産	258,260	売上原価	316,866	流動資産	157,017	売上総利益	92,903	固定資産	101,242	販売費及び一般管理費	104,534	負債	239,923	営業利益	▲11,630	流動負債	74,276	営業外収益	3,408	固定負債	165,646	営業外費用	1,029	純資産	18,336	経常利益	▲9,252	資本金	48,000	特別利益	405	資本剰余金	200	特別損失	0	利益剰余金	▲36,793	税引前当期純損失	▲8,847	自己株式	▲720	法人税、住民税及び事業税	365	評価・換算差額等	7,649	当期純利益	▲9,212		
○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																										
売上高	409,770	資産	258,260																																																									
売上原価	316,866	流動資産	157,017																																																									
売上総利益	92,903	固定資産	101,242																																																									
販売費及び一般管理費	104,534	負債	239,923																																																									
営業利益	▲11,630	流動負債	74,276																																																									
営業外収益	3,408	固定負債	165,646																																																									
営業外費用	1,029	純資産	18,336																																																									
経常利益	▲9,252	資本金	48,000																																																									
特別利益	405	資本剰余金	200																																																									
特別損失	0	利益剰余金	▲36,793																																																									
税引前当期純損失	▲8,847	自己株式	▲720																																																									
法人税、住民税及び事業税	365	評価・換算差額等	7,649																																																									
当期純利益	▲9,212																																																											
5	問題点及び懸案事項	<p>1 現在1隻体制で1日5往復運航。人員削減や役職員報酬等カットによる人件費の削減など、会社の経営改善に取り組んでいる。</p> <p>2 令和元年度はGW10連休やラグビーW杯大分開催等の影響もあり、黒字を見込んでいたが、年度末にコロナウイルスに伴う県外への移動や外出の自粛の影響を大きく受け、利用者が激減し、最終的に当期純損失は▲9,212千円となった。</p> <p>3 依然として以下のような懸案がある。</p> <p>(1) 道路交通網の発達や個人消費の低迷による利用者の減少</p> <p>(2) 燃油価格に左右される費用</p> <p>(3) 物流拠点の変更等による利用台数の減少</p> <p>(4) 天候不順や疫病等の外部環境に利益が直結</p>																																																										
6	対策及び処理状況	引き続き、2ヶ月に1回の割合で現地調査等によるモニタリングを実施していく。また、経営計画の進捗や経営状況を検証しながら、より一層の営業活動の強化と経費削減など採算重視の経営改善に取り組み、経営健全化を進め、本県と中国地方を結ぶ唯一の航路が維持されるよう指導を行っていく。																																																										



# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他15

(課・室名) 教育財務課

項	目	概	要	等																				
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県奨学会 理事長 久 家 里 三																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	475,911千円 23.4% 2,034,173千円																						
3	事業内容	<p>1 奨学資金の貸与 平成31年度実績 〈高等学校等奨学金〉</p> <table border="0"> <tr> <td>一般奨学金</td> <td>1,323人</td> <td>372,093千円</td> </tr> <tr> <td>通学費等奨学金</td> <td>58人</td> <td>3,012千円</td> </tr> <tr> <td>入学支度金</td> <td>264人</td> <td>19,750千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,645人</td> <td>394,855千円</td> </tr> </table> <p>〈大学奨学金〉 339人 194,520千円 合 計 1,984人 589,375千円</p> <p>2 奨学資金の貸与を受ける学生及び生徒の補導 3 その他目的を達成するために必要な事業</p>			一般奨学金	1,323人	372,093千円	通学費等奨学金	58人	3,012千円	入学支度金	264人	19,750千円	計	1,645人	394,855千円								
一般奨学金	1,323人	372,093千円																						
通学費等奨学金	58人	3,012千円																						
入学支度金	264人	19,750千円																						
計	1,645人	394,855千円																						
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 36,846</td> <td>資産 10,675,810</td> </tr> <tr> <td>経常費用 33,372</td> <td>流動資産 33,529</td> </tr> <tr> <td>評価損益 ▲83,936</td> <td>固定資産 10,642,281</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 ▲80,461</td> <td>負債 6,621,999</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>流動負債 2,113</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 ▲80,461</td> <td>固定負債 6,619,886</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>正味財産 (純資産) 4,053,810</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 4,053,811</td> <td>一般正味財産 2,611,098</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲80,461</td> <td>指定正味財産 1,442,712</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 36,846	資産 10,675,810	経常費用 33,372	流動資産 33,529	評価損益 ▲83,936	固定資産 10,642,281	当期経常増減額 ▲80,461	負債 6,621,999	当期経常外増減額 0	流動負債 2,113	当期一般正味財産増減額 ▲80,461	固定負債 6,619,886	当期指定正味財産増減額 0	正味財産 (純資産) 4,053,810	正味財産期末残高 4,053,811	一般正味財産 2,611,098	当期正味財産増減額 ▲80,461	指定正味財産 1,442,712
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																							
経常収益 36,846	資産 10,675,810																							
経常費用 33,372	流動資産 33,529																							
評価損益 ▲83,936	固定資産 10,642,281																							
当期経常増減額 ▲80,461	負債 6,621,999																							
当期経常外増減額 0	流動負債 2,113																							
当期一般正味財産増減額 ▲80,461	固定負債 6,619,886																							
当期指定正味財産増減額 0	正味財産 (純資産) 4,053,810																							
正味財産期末残高 4,053,811	一般正味財産 2,611,098																							
当期正味財産増減額 ▲80,461	指定正味財産 1,442,712																							
5	問題点及び懸案事項	<p>奨学金の返還時期を迎える者の数の急増につれて、返還が滞る者の数も増加しており、法人経営の安定と、将来の奨学金事業の財源確保のため、返還金債権の確実な回収が課題となっている。</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H17</th> <th>H22</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>返還対象者数</td> <td>1,918</td> <td>4,439</td> <td>14,365</td> <td>15,178</td> </tr> <tr> <td>滞納者数</td> <td>188</td> <td>704</td> <td>2,628</td> <td>2,539</td> </tr> <tr> <td>返還率 (%)</td> <td>83.5</td> <td>79.4</td> <td>77.6</td> <td>76.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※返還率＝返還額÷返還予定額</p>			年度	H17	H22	H30	H31	返還対象者数	1,918	4,439	14,365	15,178	滞納者数	188	704	2,628	2,539	返還率 (%)	83.5	79.4	77.6	76.4
年度	H17	H22	H30	H31																				
返還対象者数	1,918	4,439	14,365	15,178																				
滞納者数	188	704	2,628	2,539																				
返還率 (%)	83.5	79.4	77.6	76.4																				
6	対策及び処理状況	<p>1 平成21年度から債権管理事務委託の導入により専らその回収に従事する職員を配置し、平成24年度からは人数を2人に増員するとともに債権管理に精通した人材を配置することで返還率の向上に努めている。</p> <p>2 文書催告や支払督促等の法的手段による債権回収の取組を強化することで、返還等の向上に取り組んでいる。</p>																						

# 県出資法人の経営状況報告概要書

その他16

(課・室名) 警察本部 生活安全企画課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県防犯協会 理事長 荒 金 一 義		
2	県 出 資 金	2, 0 0 0千円		
	出 資 比 率	7. 0 %		
	資 本 金 等 の 総 額	2 8, 4 1 8千円		
3	事 業 内 容	1 防犯思想の普及及び高揚並びに犯罪の防止 2 少年非行の防止及び青少年の健全育成 3 防犯団体が行う防犯活動に対する協力援助 4 防犯活動の功労者及び団体に対する表彰 5 風俗環境の浄化活動 6 自転車等の防犯対策 等		
4	元 年 度 決 算 状 況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 40,984 経常費用 40,715 当期経常増減額 269 経常外収益 505 経常外費用 154 当期経常外増減額 351 当期一般正味財産増減額 620 当期指定正味財産増減額 ▲505 正味財産期末残高 35,617 当期正味財産増減額 115	○貸借対象表(千円) 資産 40,302 流動資産 8,232 固定資産 32,070 負債 4,684 流動負債 2,671 固定負債 2,013 正味財産(純資産) 35,617 一般正味財産 34,056 指定正味財産 1,561	
5	問題点及び懸案事項	昨年度に比べ、賛助会員数は、同数であったが、会費口数が僅かに減少し、賛助会費収入が約16万円の減額となった。 公益事業を効果的に推進するため、賛助会員の拡大等県民の理解と協力を得る必要がある。		
6	対策及び処理状況	ホームページや広報誌等を活用して団体の活動状況を広く県民に広報して理解を求めるとともに、各種団体への協力依頼等を行う。		

## Ⅱ 地方独立行政法人（公立大学法人）の 経営状況報告概要書

# 地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人1

(課・室名) 政策企画課

項	目	概	要	等																												
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 理事長 小手川大助																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,823,539千円(土地・建物) 100%																														
3	事業内容	<p>令和元年度事業実績</p> <p>1 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学科における時代の潮流に応じた教育内容の改革及び進路支援体制の強化。 就職率 H29:96.8%→H30:97.3%→R1:98.0% 進学率 H29:95.0%→H30:98.3%→R1:97.9% 志願者数 H30入試:870人→R1入試:826人→R2入試:842人</li> <li>全学科横断型の学修カリキュラム「アートマネジメントプログラム」から初の修了生(30名)を輩出。</li> </ul> <p>2 社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的かつ専門的な公開講座「オープンカレッジ」(49講座、受講者数2,438名)及び公開授業(17科目、受講者数69名)を実施。</li> <li>ラグビーワールドカップ2019大分開催において、県や大分市と連携し、県議会議場でのコンサート演奏をはじめ、出場国の国歌斉唱、ラグビーをモチーフとした巨大モザイクアートの展示など、各イベント等に参画。</li> </ul> <p>3 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術棟増築、音楽棟改修などの施設整備を完了させるなど、学生の学修環境と安全の確保に最大限の配慮をしながら、キャンパス整備の5年目事業を計画どおりに実施。</li> </ul>																														
4	元年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>経常収益</td> <td>1,041,510千円</td> <td>→</td> <td>参考;内訳</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>1,048,659千円</td> <td></td> <td>運営費交付金 456,121千円</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲7,149千円</td> <td></td> <td>授業料 333,073千円</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>203千円</td> <td></td> <td>入学金 97,120千円</td> </tr> <tr> <td>前中期目標期間</td> <td></td> <td></td> <td>検定料 16,093千円</td> </tr> <tr> <td>繰越積立金取崩額</td> <td>14,017千円</td> <td></td> <td>受託事業等 7,470千円</td> </tr> <tr> <td>当期総利益</td> <td>7,071千円</td> <td></td> <td>その他(修繕費等) 131,633千円</td> </tr> </table>			経常収益	1,041,510千円	→	参考;内訳	経常費用	1,048,659千円		運営費交付金 456,121千円	当期経常増減額	▲7,149千円		授業料 333,073千円	臨時利益	203千円		入学金 97,120千円	前中期目標期間			検定料 16,093千円	繰越積立金取崩額	14,017千円		受託事業等 7,470千円	当期総利益	7,071千円		その他(修繕費等) 131,633千円
経常収益	1,041,510千円	→	参考;内訳																													
経常費用	1,048,659千円		運営費交付金 456,121千円																													
当期経常増減額	▲7,149千円		授業料 333,073千円																													
臨時利益	203千円		入学金 97,120千円																													
前中期目標期間			検定料 16,093千円																													
繰越積立金取崩額	14,017千円		受託事業等 7,470千円																													
当期総利益	7,071千円		その他(修繕費等) 131,633千円																													
5	問題点及び懸案事項	<p>1 入学生の確保と学生に対する支援</p> <p>2 地域社会・産業への貢献の推進</p> <p>3 施設整備の着実な実施と感染症対策の強化</p>																														
6	対策及び処理状況	<p>1 時代のニーズに応じたカリキュラムの見直しや履修内容の充実を図るとともに、大学の魅力を積極的に情報発信するなど、入学生確保の取組を促進する。また、コロナ禍の中、経済的に困難な学生を支援するとともに、きめ細やかな就職・進学支援に取り組む。</p> <p>2 地域住民や各種団体等と協働し、デザインや音楽など専門的な教育研究成果を社会に還元することで、地域の芸術文化の振興に努め、地域活性化に貢献する。</p> <p>3 県補助金や短大積立金等を活用して、魅力あるキャンパス整備を着実に実施するとともに、ウィズコロナの時代を見据えて、感染症対策や、オンライン授業の高度化などを進める。</p>																														

# 公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学の 令和元事業年度の業務実績に関する評価結果

## 1 根拠法令

地方独立行政法人法第78条の2第6項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告

(令和2年8月3日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催)

## 2 評価結果

(1) 「全体として年度計画を順調に実施している。」

(2) 大項目評価

大項目	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
I 教育研究等の質 の向上	S	A	B	C	D
II 業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D
III 財務内容の改善	S	A	B	C	D
IV 自己点検・評価及 び情報提供	S	A	B	C	D
V その他業務運営	S	A	B	C	D

(3) 評価理由

「I 教育研究等の質の向上」においては、以下のことで、特筆すべき進行状況であると評価された。

- ①全学科横断型の「アートマネジメントプログラム」が開講2年目を迎え、芸術系、人文系各学科から受講し、最初の修了者として30名が所定の成果を収めたこと。
- ②企業等と連携し、デザインの専門性を活かした取組を展開しており、クリエイティブ産業創出に向けた経済団体との連携等、さらなる取組の強化が期待されること。
- ③就職・進学に対応した進路指導プログラムと進路指導室の面接・相談等により、就職率98.0%、進学率97.9%といずれも高い水準を維持したこと。
- ④県東部振興局と連携した地方創生の取組を他の振興局にも広げていくことが期待されること。
- ⑤地域に開かれた大学として地域社会へ貢献する取組を進めており、今後、新設の図書館、音楽ホール棟等を活用した一層の取組が期待されること。

# 地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人 2

(課・室名) 医療政策課

項	目	概	要	等														
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立看護科学大学 理事長 村 嶋 幸 代																
2	県 出 資 金 出 資 比 率 資 本 金 等 の 総 額	3, 2 6 4, 3 6 3 千円 (土地・建物) 1 0 0 %																
3	事 業 内 容	<p>1 大学を設置し、これを運営すること。                  2 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。                  3 地域社会及び国際社会において、大学における教育研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。                  4 学生以外の者に対し、看護に関する学習の機会を提供すること。                  5 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。                  6 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。</p> <p>・就職率 (学 部) H29: 100%→ H30:97.0%→ R1 : 100%                  ・進学率 (学 部) H29: 100%→ H30: 100%→ R1 : 100%                  ・志願者数 (学 部) H30: 259人→ H31: 302人→ R2 : 324人                  ・国試合格率(看護師) H29: 100%→ H30:97.4%→ R1 : 100%</p>																
4	元 年 度 決 算 状 況	<p>経費削減及び外部資金の確保に努めながら、大学運営は、年度計画どおり順調に行われている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">経常収益</td> <td style="text-align: right;">910,073千円</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td style="text-align: right;">907,225千円</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td style="text-align: right;">2,848千円</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td style="text-align: right;">4,323千円</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td style="text-align: right;">3,183千円</td> </tr> <tr> <td>前中期目標期間繰越積立金取崩額</td> <td style="text-align: right;">22,662千円</td> </tr> <tr> <td><u>当期総利益</u></td> <td style="text-align: right;"><u>26,650千円</u></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">→令和2年の目的積立金へ</p>			経常収益	910,073千円	経常費用	907,225千円	経常利益	2,848千円	臨時利益	4,323千円	臨時損失	3,183千円	前中期目標期間繰越積立金取崩額	22,662千円	<u>当期総利益</u>	<u>26,650千円</u>
経常収益	910,073千円																	
経常費用	907,225千円																	
経常利益	2,848千円																	
臨時利益	4,323千円																	
臨時損失	3,183千円																	
前中期目標期間繰越積立金取崩額	22,662千円																	
<u>当期総利益</u>	<u>26,650千円</u>																	
5	問 題 点 及 び 懸 案 事 項	<p>1 収入確保策として、外部研究資金を積極的に獲得する必要がある。                  2 開学後22年が経過し、教育・研究用の機器類や施設が老朽化している。それらの修理更新及び施設保全の支出の増加が見込まれる。</p>																
6	対 策 及 び 処 理 状 況	<p>1 外部研究資金(科学研究費等)の収入確保のため、レビュー制度や申請の個別支援などの対策を講じている。                  2 機器類は、主に目的積立金を活用して、優先順位を勘案しながら効率的に修理、更新を進めている。また、施設保全については、県有建築物等の保全計画の中で対応を協議している。</p>																

# 公立大学法人 大分県立看護科学大学の 令和元事業年度の業務実績に関する評価結果

## 1 根拠法令

地方独立行政法人法第 78 条の 2 第 6 項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告

(令和 2 年 8 月 3 日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催)

## 2 評価結果

(1) 「全体として年度計画を順調に実施している。」

(2) 大項目評価

大項目	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
I 教育研究等の質 の向上	S	A	B	C	D
II 業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D
III 財務内容の改善	S	A	B	C	D
IV 自己点検・評価及 び情報提供	S	A	B	C	D
V その他業務運営	S	A	B	C	D

(3) 評価理由

- ①多くの卒業生が県内の医療機関や自治体に就職するなど県内地域医療への貢献に繋がっているほか、予防的家庭訪問実習では、学部生が高齢者の家庭を定期的に訪問するなど、県内地域の再生・活性化にも貢献していること。
- ②看護師、保健師、助産師の国家試験対策を強化し、2019 年度はトリプル 100%の合格を達成したこと。
- ③年度計画は順調に実施していると認められるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、今後保健師や看護師の確保が全国的に厳しくなることが予想されることから、県内の行政や関係団体との連携を強め、一層の県内就職促進を図っていくことが期待されること。





### Ⅲ 県有地の信託に係る事務の 処理状況報告概要書

# 県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

(課・室名) 商工観光労働企画課

項	目	概	要	等												
1	法人名及び代表者名	県有地の信託														
2	事業内容	1 土地 7,383㎡ 2 建物 大分ソフィアプラザビル（昭和63年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上4階建 大分第2ソフィアプラザビル（平成5年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上7階建 3 土地信託契約内容 ・受託者 三井住友信託銀行株式会社 ・信託期間 昭和62年2月4日～令和10年8月15日（41年間） ・信託報酬（賃料+駐車場料）×2.5% ・貸室条件 情報通信関連企業、知事が認める企業														
3	元年度決算状況	1 令和元年度決算 収 入 346,509千円      利益処分計算 支 出 134,136千円      借入金返済 57,680 当期純利益 212,373千円      敷金返還受入 ▲1,221 2 借入状況（受託者による資金の借入れ） ・令和元年度返済金額 57,680千円      長期保険料 3,738 ・令和元年度末借入残高 471,970千円      資本的支出 39,420 （内訳） 〔 三井住友信託銀行 235,985千円      修繕積立金 76,941 大分銀行 235,985千円      敷金等返還準備金 7,000 共益費会計余剰金 28,815														
4	問題点及び懸案事項	1 駐車場等の設備に老朽化がみられるため、改修が必要。														
5	対策及び処理状況	1 入居者確保対策として、大手仲介業者等との情報共有や大分市内の企業に対する事務所移転ニーズの調査等により新規入居の誘致活動を強化する。 【参考：入居率の推移】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74.9%</td> <td>78.6%</td> <td>83.5%</td> <td>83.8%</td> <td>85.5%</td> <td>96.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">※令和2年度見込み</p> 2 入退去状況 * H29 … 【入居】 イーストライズ(株)、(株)日立アーバンサポート、大分県国民文化祭・障害者芸術文化祭局 【退去】 (株)豊和銀行 * H30 … 【入居】 日本たばこ産業(株) 【増床】 ヤフー(株) 【退去】 大分県生活環境部（私学振興・青少年課）、大分県国民文化祭・障害者芸術文化祭局 * R元 … 【入居】 (株)エージェント、(株)日立ビルシステム 【退去】 NECファシリティーズ(株) * R2 … 【入居】 (株)オーイーシー、厚生労働省大分労働局 (見込み)			H27	H28	H29	H30	R元	R2※	74.9%	78.6%	83.5%	83.8%	85.5%	96.7%
H27	H28	H29	H30	R元	R2※											
74.9%	78.6%	83.5%	83.8%	85.5%	96.7%											

